

平成 25 年 3 月 28 日
内閣府公共サービス改革推進室

情報処理技術者試験事業の評価について（案）

競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成 18 年法律第 51 号）第 7 条第 8 項の規定に基づき、標記事業の評価は以下のとおりである。

I 事業の概要等

1 実施の経緯及び事業の概要

独立行政法人情報処理推進機構（以下「機構」という。）が所管する情報処理技術者試験事業については、公共サービス改革基本方針（平成 21 年 7 月 10 日改定及び平成 22 年 7 月 6 日改定を閣議決定）において、競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成 18 年法律第 51 号）に基づく民間競争入札（以下「民間競争入札」という。）を実施することを決定した。これを受けて機構は官民競争入札等監理委員会の議を経て、「情報処理技術者試験事業 民間競争入札実施要項」（以下「実施要項」という。）を定め、実施要項に基づき、民間競争入札を実施して受託事業者を決定した。その概要は以下のとおりである。

事 項	内 容
業務内容	<p>下記①及び②の支部等が実施していた情報処理技術者試験実施事業（試験会場の確保、会場責任者、試験監督員等の確保及び割付、試験運営業務等）に係わる業務</p> <p>① 北海道支部（札幌試験地）、東北支部（仙台試験地）、旧広島支部（広島試験地）、旧四国支部（高松試験地）、九州支部（福岡試験地）及び旧沖縄支部（那覇試験地）</p> <p>② 関東支部（東京地域）、関東支部（東京周辺地域）、中部支部（名古屋地域）及び近畿支部（近畿地域）</p>
契約期間	<p>①の支部について</p> <p>平成 22 年 10 月 1 日から平成 25 年 12 月 31 日までの 3 年 3 か月間実施する試験は次のとおり。</p> <p>(1) 平成 23 年 4 月の第 3 日曜日に実施予定の平成 23 年度春期の試験</p> <p>(2) 平成 23 年 10 月の第 3 日曜日に実施の平成 23 年度秋期の試験</p> <p>(3) 平成 24 年 4 月の第 3 日曜日に実施予定の平成 24 年度春期の試験</p> <p>(4) 平成 24 年 10 月の第 3 日曜日に実施予定の平成 24 年度秋期の試験</p> <p>(5) 平成 25 年 4 月の第 3 日曜日に実施予定の平成 25 年度春期の試験</p> <p>(6) 平成 25 年 10 月の第 3 日曜日に実施予定の平成 25 年度秋期の試験</p> <p>※ 平成 23 年度春期の試験については、東日本大震災の影響により中止し、平成 23 年 6 月 26 日(日)と 7 月 10 日(日)に平成 23 年度特別情報処理技術者試験(以下「平成 23 年度特別」という。)として実施</p>

<p>受託事業者 及び契約金額</p>	<p>②の支部について</p> <p>平成 23 年 10 月 1 日から平成 25 年 12 月 31 日までの 2 年 3 か月間実施する試験は次のとおり。</p> <p>(1) 平成 24 年 4 月の第 3 日曜日に実施予定の平成 24 年度春期の試験</p> <p>(2) 平成 24 年 10 月の第 3 日曜日に実施予定の平成 24 年度秋期の試験</p> <p>(3) 平成 25 年 4 月の第 3 日曜日に実施予定の平成 25 年度春期の試験</p> <p>(4) 平成 25 年 10 月の第 3 日曜日に実施予定の平成 25 年度秋期の試験</p> <table border="1" data-bbox="454 593 1396 1131"> <thead> <tr> <th>試験地</th> <th>受託事業者</th> <th>契約金額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>札幌</td> <td>ランスタッド株式会社</td> <td>34,562,587 円 (税込)</td> </tr> <tr> <td>仙台</td> <td>ランスタッド株式会社</td> <td>35,552,538 円 (税込)</td> </tr> <tr> <td>広島</td> <td>ランスタッド株式会社</td> <td>27,472,620 円 (税込)</td> </tr> <tr> <td>高松</td> <td>株式会社全国試験運営センター</td> <td>12,058,200 円 (税込)</td> </tr> <tr> <td>福岡</td> <td>ランスタッド株式会社</td> <td>50,365,736 円 (税込)</td> </tr> <tr> <td>那覇</td> <td>那覇商工会議所</td> <td>14,059,500 円 (税込)</td> </tr> <tr> <td>東京地域</td> <td>日本通運株式会社</td> <td>606,334,371 円 (税込)</td> </tr> <tr> <td>東京周辺地域</td> <td>日本通運株式会社</td> <td>429,994,454 円 (税込)</td> </tr> <tr> <td>名古屋地域</td> <td>株式会社全国試験運営センター</td> <td>101,640,000 円 (税込)</td> </tr> <tr> <td>近畿地域</td> <td>日本通運株式会社</td> <td>214,200,000 円 (税込)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 札幌、仙台、広島、福岡試験地の落札事業者である株式会社アイラインは、平成 23 年 7 月 1 日付で経営統合によりランスタッド株式会社に変更した。</p>	試験地	受託事業者	契約金額	札幌	ランスタッド株式会社	34,562,587 円 (税込)	仙台	ランスタッド株式会社	35,552,538 円 (税込)	広島	ランスタッド株式会社	27,472,620 円 (税込)	高松	株式会社全国試験運営センター	12,058,200 円 (税込)	福岡	ランスタッド株式会社	50,365,736 円 (税込)	那覇	那覇商工会議所	14,059,500 円 (税込)	東京地域	日本通運株式会社	606,334,371 円 (税込)	東京周辺地域	日本通運株式会社	429,994,454 円 (税込)	名古屋地域	株式会社全国試験運営センター	101,640,000 円 (税込)	近畿地域	日本通運株式会社	214,200,000 円 (税込)
試験地	受託事業者	契約金額																																
札幌	ランスタッド株式会社	34,562,587 円 (税込)																																
仙台	ランスタッド株式会社	35,552,538 円 (税込)																																
広島	ランスタッド株式会社	27,472,620 円 (税込)																																
高松	株式会社全国試験運営センター	12,058,200 円 (税込)																																
福岡	ランスタッド株式会社	50,365,736 円 (税込)																																
那覇	那覇商工会議所	14,059,500 円 (税込)																																
東京地域	日本通運株式会社	606,334,371 円 (税込)																																
東京周辺地域	日本通運株式会社	429,994,454 円 (税込)																																
名古屋地域	株式会社全国試験運営センター	101,640,000 円 (税込)																																
近畿地域	日本通運株式会社	214,200,000 円 (税込)																																
<p>業務に当たり 確保されるべきサービスの 質</p>	<p>○ 機構の試験会場の借り上げ実績を参考とした概ね交通の便が良く、清潔かつ静かな環境を備えた受験申請者数全数の収容を可能とする試験会場の確保</p> <p>○ 機構の試験室内の座席配置の例（マニュアルの「試験室設営」）を参考とした余裕を持った試験室内の座席配置</p> <p>○次に掲げる各項に特に注意を払いつつ、マニュアルに基づいた受験者の安全確保を第一に考えた試験運営</p> <p>ただし、災害等非常時においては受験者の安全確保を第一とする。</p> <p>a) 試験問題の事前の漏洩の絶対防止</p> <p>b) 試験時間の過不足の絶対防止</p> <p>c) 不正行為の防止に努めるとともに、不正行為に対する厳正な対処</p> <p>d) マニュアルを厳格に適用することによる正確かつ公平な出欠確認及び受験資格の確認</p> <p>e) 受験者に配付した答案用紙及び受験票（本人控えは除く。）の全数回収</p> <p>f) 回収した答案用紙への加筆及び訂正の絶対防止</p> <p>g) 未使用答案用紙の欠席者及び部外者への流出の絶対防止</p> <p>h) 個人情報の盗難、亡失及び漏洩の絶対防止（※平成23年10月開始業務の実施要項で追記）</p> <p>○ 試験会場の周辺住民の生活環境への配慮及び試験会場周辺での交通トラブルの防止</p>																																	

2 受託事業者決定の経緯

入札参加者は那覇試験地を除いたすべての地域で2者以上であり、仙台試験地の1者以外はいずれも入札参加資格及び必須審査項目を満たしていた。那覇試験地においては、沖縄での自社登録の監督員経験者が少ない、沖縄に拠点がなくコストが高くなる等の理由から、入札参加者は1者であった。

また、当該試験地ごとに開札したところ、那覇試験地及び名古屋地域試験地においては、予定価格を上回る価格であったため、再入札を行い、予定価格の範囲内での落札となった。

表1 試験地（地域）ごとの入札参加者数

札幌	仙台	広島	高松	福岡	那覇	東京地域	東京周辺地域	名古屋地域	近畿地域
3者	4者	2者	3者	2者	1者	3者	2者	2者	2者

II 評価

1 評価方法について

平成25年2月25日に機構から提出された情報処理技術者試験事業の実施状況について（別添）に基づき、サービスの質の確保、実施経費等の観点から、事業の評価を行うものとする。

2 対象公共サービスの実施内容に関する評価

ア 試験会場の確保

交通の便が良い従来と同様の会場を基本として、受験者全員を確実に収容できる試験会場を確保している。また、平成23年度特別において、仙台試験地は、東日本大震災の影響により会場確保が困難であったが、落札事業者と機構は連携を取り機構側が紹介した会場も借用し、対応していることから確保すべきサービスの質は達成できたものと評価できる。

イ 余裕を持った試験室内の座席配置

機構が定めたマニュアルに基づき、1テーブル3名がけの机に2名を座らせるなど、受験者が試験に臨みやすい余裕を持った座席配置を行い、受験者間での苦情もなく試験が実施できたことから、確保すべきサービスの質は達成できたものと評価できる。

ウ マニュアルに基づいた受験者の安全確保を第一に考えた試験運営

a. 試験問題漏洩の絶対防止

機構が定めたマニュアルに基づき、問題用紙及び答案用紙について、試験前の厳重な保管、試験会場への確実な搬入など、試験問題の事前の漏洩がないよう、管理の徹底が図られた。

また、試験会場では、試験監督員全員が問題用紙及び答案用紙の管理を徹底し、受験者一人一人に確実に配布している。

このように、試験前、試験会場においても、試験問題の漏洩がなく、確保すべきサービスの質は達成できたものと評価できる。

b. 試験時間の過不足の絶対防止

試験開始時間が遅延した場合、試験終了時間を調整することにより、試験時間の過不足を防止することとしており、試験時間の過不足は生じなかった。

c. 不正行為の防止に努めるとともに、不正行為に対する厳正な対処

機構が定めマニュアルに基づき、机上におくことができるものの徹底、試験監督員による試験中の巡回監視などにより、不正行為の防止に努め、不正行為の発生がなかったことから、確保すべきサービスの質は確保できたものと評価できる。

d. マニュアルを厳格に適用することによる正確かつ公平な出欠確認及び受験資格の確認

機構が定めたマニュアルに基づき、試験監督員が、受験者個々の受験票と受験者本人の確認等を通じて、正確に出欠及び受験資格の確認を行っており、確保すべきサービスの質は達成できたものと評価できる。

e. 受験者に配付した答案用紙及び受験票(本人控えは除く。)の全数回収

受験者全員から答案用紙及び受験票を回収し、回収した答案用紙と受験票の枚数の一致も確認している。なお、札幌試験地においては、平成23年特別において返送ミスが発生したが、落札業者と機構側で緊密に連携し、問題解決が図られたほか、再発防止に向けた取組みも十分なされたところであり、平成23年度秋期以降は問題なく試験を実施することができていることから、確保すべきサービスの質は達成できたものと評価できる。

f. 回収した答案用紙への加筆及び訂正の絶対防止

試験終了後、回収した答案用紙への加筆や訂正は一件もなかったことから、確保すべきサービスの質は達成できたものと評価できる。

g. 未使用答案用紙の欠席者及び部外者への流出の絶対防止

答案用紙については、出席した受験者一人一人に対して、確実に配布・回収し、回収分と未使用分の合計が、受験者への配布前の枚数と同数であることも確認しており、確保すべきサービスの質は達成できたものと評価できる。

- h. 個人情報の盗難、亡失及び漏洩の絶対防止（※平成23年10月開始業務の実施要項で追記）
個人情報の盗難、亡失及び漏洩は一件もなかったことから、確保すべきサービスの質は達成できたものと評価できる。

エ 試験会場の周辺住民の生活環境への配慮及び試験会場周辺での交通トラブルの防止
試験当日、試験会場の規模等に応じた適切な人数を警備員として配置するなどの措置を行い、交通トラブルや周辺住民からの苦情は一件も発生していないことから、確保すべきサービスの質は達成できたものと評価できる。

3 実施経費

① 22年に開始した試験実施業務について

平成22年10月から平成25年12月までの6回の試験実施に係る事業として民間競争入札を実施し、入札者が提出した企画書及び入札金額について、総合評価（除算方式（基礎点100点、加算点50点））を行い、落札者を決定した。

実施経費と従来経費との比較については、平成23年度（特別、秋期の試験2回分）と機構側が実施していた際の直近年度（春期、秋期の試験2回分）で比較しており、その結果は以下のとおりである。なお、報酬の支払いは、請負契約金額を3等分したものとしているが、経費を比較するにあたり、平成23年度の実施経費については、ITパスポート試験の受験申請者数を踏まえ、傾斜配分している。

表 平成22年度開始業務における市場化テスト導入前との経費の比較

試験地	従来経費 (A)	実施経費 (B)	削減額 (B-A)	削減率
札幌試験地	19,020 千円 (H22)	14,082 千円	△4,938 千円	26%
仙台試験地	21,049 千円 (H22)	14,900 千円	△6,149 千円	29%
広島試験地	14,468 千円 (H20)	11,910 千円	△2,558 千円	18%
高松試験地	7,449 千円 (H19)	4,967 千円	△2,482 千円	33%
福岡試験地	32,091 千円 (H22)	20,903 千円	△11,188 千円	35%
那覇試験地	3,306 千円 (H19)	6,615 千円	3,309 千円	△100%
合計	97,383 千円	73,377 千円	△24,006 千円	25%

注：札幌試験地においては、平成23年特別において、答案用紙の返送ミスが生じたため、当該試験に係る報酬額から5%相当額（288千円）を減額している。

対象試験地ごとに見ると札幌、仙台、広島、高松及び福岡の試験地においては、機構側が実施していた際の従来経費に比べ約18%～35%の経費削減がなされている。那覇試験地においては、従来経費より倍増しているが、これは、同試験地の落札事業者が、市場化テスト第1期目と同じであり、これまでの実施状況を踏まえた経費の算定ができるようになったこと、受験申請者数の増減を踏まえたことによるものである。全体で見ると実施経費

73,378千円は、従来経費の約75%に相当し、機構側は約24,006千円の経費が削減されている。

② 23年に開始した試験実施業務について

平成23年10月から平成25年12月までの4回の試験実施に係る事業として民間競争入札を実施し、入札者が提出した企画書及び入札金額について、総合評価（加算方式（価格点100点、技術点200点））を行い、落札者を決定した。

実施経費と従来経費との比較については、平成24年度（春期、秋期の試験2回分）と機構側が実施していた際の平成23年度（春期、秋期の試験2回分）で比較しており、その結果は以下のとおりである。なお、機構側の平成23年度の従来経費については、ITパスポート試験に要した経費を除外している。

表 平成23年度開始業務における市場化テスト導入前との経費の比較

試験地	従来経費 (A)	実施経費 (B)	削減額 (B-A)	削減率
東京地域	347,430千円	303,167千円	△44,263千円	13%
東京周辺地域	262,229千円	214,997千円	△47,232千円	18%
名古屋地域	45,601千円	50,820千円	5,219千円	△11%
近畿地域	101,340千円	107,100千円	5,760千円	△6%
合計	756,600千円	676,084千円	△80,516千円	11%

対象試験地ごとに見ると東京地域及び東京周辺地域の試験地においては、機構側が実施していた際の従来経費に比べ約13%~18%の経費削減がなされている。名古屋地域及び近畿地域においては、それぞれ5,219千円、5,760千円の増額となっているが、これは受験申請者数の増加傾向及び会場確保等の様々なリスク等を勘案した結果と思われる。

なお、全体で見ると実施経費676,084千円は、従来経費の約89%に相当し、機構側は約80,516千円の経費が削減されている。

4 総括

上述のとおり、確保されるべき公共サービスの質をおおむね達成し、受験申請者数の多い試験地においては、会場責任者をはじめ、副責任者、主任管理員、主任監督員を事業者の社員で実施することにより、集合教育等の教育体制や実施体制が強化されているところもあり、試験事業を確実に遂行するための受託事業者の創意工夫が発揮されている。

実施経費は、増額となっている地域も見受けられるが、情報処理技術者試験事業全体で見ると従来経費853,983千円（平成22年開始業務:97,383千円、平成23年開始業務:756,600千円）の約88%に相当し、約104,522千円の経費が削減されていることは評価できる。

また、市場化テストの導入を契機として、当該試験の実施業務を担う全支部を廃止したことも評価できる。

本事業は、良好な実施状況であると評価できる。このため、次期事業においては、新プロセスへ移行した上で、事業を実施することが適当であると考えられる。

以上

情報処理技術者試験事業の実施状況について

平成 25 年 2 月 25 日

独立行政法人 情報処理推進機構
情報処理技術者試験センター

1. 事業概要

次の支部が行っていた試験実施事業(試験会場の確保、会場責任者・試験監督員等(以下「会場責任者等」という。))の確保及び割付、試験運營業務等)に係わる業務について、「競争の導入による公共サービスの改革に関する法律」(平成 18 年法律第 51 号)に基づく民間競争入札を行い、以下のとおり事業を実施した。

- ① 北海道支部(札幌試験地)、東北支部(仙台試験地)、旧広島支部(広島試験地)、旧四国支部(高松試験地)、九州支部(福岡試験地)及び旧沖縄支部(那覇試験地)
- ② 関東支部(東京地域)、関東支部(東京周辺地域)、中部支部(名古屋地域)及び近畿支部(近畿地域)

2. 請負業務期間

(1) 1. ①の支部について

平成 22 年 10 月 1 日から平成 25 年 12 月 31 日までの 3 年 3 か月間
実施する試験は次のとおり。

- ① 平成 23 年 4 月の第 3 日曜日に実施予定の平成 23 年度春期の試験
- ② 平成 23 年 10 月の第 3 日曜日に実施の平成 23 年度秋期の試験
- ③ 平成 24 年 4 月の第 3 日曜日に実施予定の平成 24 年度春期の試験
- ④ 平成 24 年 10 月の第 3 日曜日に実施予定の平成 24 年度秋期の試験
- ⑤ 平成 25 年 4 月の第 3 日曜日に実施予定の平成 25 年度春期の試験
- ⑥ 平成 25 年 10 月の第 3 日曜日に実施予定の平成 25 年度秋期の試験

※平成 23 年度春期の試験については、東日本大震災の影響により中止し、平成 23 年 6 月 26 日(日)と 7 月 10 日(日)に平成 23 年度特別情報処理技術者試験(以下「平成 23 年度特別」という。)として実施した。

(2) 1. ②の支部について

平成 23 年 10 月 1 日から平成 25 年 12 月 31 日までの 2 年 3 か月間
実施する試験は次のとおり。

- ① 平成 24 年 4 月の第 3 日曜日に実施予定の平成 24 年度春期の試験
- ② 平成 24 年 10 月の第 3 日曜日に実施予定の平成 24 年度秋期の試験
- ③ 平成 25 年 4 月の第 3 日曜日に実施予定の平成 25 年度春期の試験
- ④ 平成 25 年 10 月の第 3 日曜日に実施予定の平成 25 年度秋期の試験

3. 落札事業者

(札幌試験地) ランスタッド株式会社
(仙台試験地) ランスタッド株式会社
(広島試験地) ランスタッド株式会社

(高松試験地) 株式会社全国試験運営センター

(福岡試験地) ランスタッド株式会社

(那覇試験地) 那覇商工会議所

(東京地域) 日本通運株式会社

(東京周辺地域) 日本通運株式会社

(名古屋地域) 株式会社全国試験運営センター

(近畿地域) 日本通運株式会社

※札幌、仙台、広島、福岡試験地の落札事業者である株式会社アイラインは、平成 23 年 7 月 1 日付けで経営統合によりランスタッド株式会社に変更した。

4. 札幌試験地

(1) 実施規模

表1 実施規模

	平成 21 年度春期	平成 21 年度秋期	平成 22 年度春期	平成 22 年度秋期	平成 23 年度特別	平成 23 年度秋期	平成 24 年度春期	平成 24 年度秋期
受験申請者数	5,788	7,019	6,015	7,197	5,713	5,724	3,797	4,218
会場数	5	6	5	6	8	4	2	5
事業実施機関	独立行政法人情報処理推進機構				ランスタッド株式会社			

※ 平成 23 年度特別試験の会場数は、6 月実施分と 7 月実施分の延べ会場数である。

ITパスポート試験は、平成 23 年 11 月から CBT*化したため、平成 24 年度春期以降、当事業の対象とはしていない。

* CBT (Computer Based Testing) とは、コンピュータを利用して実施する試験。

(2) 調査項目

- イ. 問題冊子の漏洩の数とその原因について
- ロ. 答案用紙の回収漏れの数とその原因について
- ハ. 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処方法について
- ニ. 実施経費

(3) 調査方法

独立行政法人 情報処理推進機構(以下「機構」という。)は、民間事業者から受けた請負事業の実施状況の報告、民間事業者へのヒアリング、受験者からの問い合わせ結果、回収した答案枚数等を通じて把握した。

(4) 調査結果

①平成 23 年 1 月～平成 24 年 12 月に実施した試験における調査項目イ、ロの結果

表2 調査項目イ、ロの目標と実績

調査項目	平成 21 年度春期	平成 21 年度秋期	平成 22 年度春期	平成 22 年度秋期	平成 23 年度特別	平成 23 年度秋期	平成 24 年度春期	平成 24 年度秋期
試験問題の事前漏洩件数(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0
答案用紙の回収漏れ件数(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0
事業実施機関	独立行政法人情報処理推進機構				ランスタッド株式会社			

なお、事前漏洩を絶対防止するため、機構と落札事業者間で、原則、次のとおり処理を行っている。

- (a) 試験日 2 日前、機構が手配した問題輸送事業者の倉庫で、問題輸送事業者立ち会いの下、落札事業者は、問題等の箱数を確認する。確認後は、問題輸送事業者が厳重に保管する。

(b) 落札事業者は、試験当日朝、問題輸送事業者が輸送してきた問題等を試験会場で受け取り、問題等の箱数を再確認するとともに、箱が未開梱であることを検品の上、問題輸送事業者が試験会場内の試験会場事務局に搬入する。

(c) 試験当日午前の試験開始時刻に間に合うよう、試験会場事務局内で、試験区分ごとに梱包された問題等を開梱し、試験室別に受験申請者数と同数の問題冊子、答案用紙をセットし、確認を行った後、試験監督員により試験室内に運び入れる。

②平成23年1月～平成24年12月に実施した試験における調査項目への結果

(a) 機構の試験会場の借り上げ実績を参考とした概ね交通の便が良く、清潔かつ静かな環境を備えた受験申請者数全数の収容を可能とする試験会場の確保。

試験会場に関する結果は表3のとおり、公共交通機関を利用してアクセスすることが可能な会場を選定しており、機構が示した条件を満たしていることを確認した。

表3 借用会場

(単位:人数)

試験会場	平成21年度春期	平成21年度秋期	平成22年度春期	平成22年度秋期	平成23年度特別	平成23年度秋期	平成24年度春期	平成24年度秋期
北海道工業大学	658	754	754	658	344			
札幌学院大学	724	914	882	1,000				
北海道情報専門学校	1,260	1,356	1,356	1,356	2,165	718		1,054
札幌大学		842		993				1,241
大原簿記情報専門学校札幌校					704			
北海道大学高等教育推進機構	3,139	3,140	3,010	3,174	2,050	3,386	3,730	1,028
北海道大学 農学部						864		
北海道大学 理学部						756	67	459
札幌医療福祉デジタル専門学校					439			
代々木ゼミナール 札幌校								436
札幌コンベンションセンター								
メディアミックス札幌	7	13	13	16	11			
合計	5,788	7,019	6,015	7,197	5,713	5,724	3,797	4,218
事業実施機関	独立行政法人情報処理推進機構				ランスタッド株式会社			

(b) 試験の座席配置については、原則、1人用机は、隣の机と離して配置し、複数人数の長机では、隣席を空けて試験定員に応じて配置した。

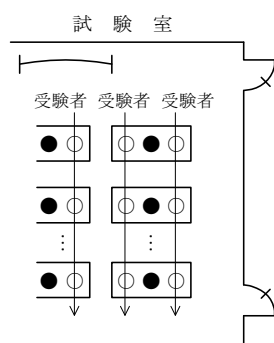


図 座席配置の例(『監督員マニュアル』から抜粋)

(c) 試験時間の過不足の防止について

平成 24 年度春期及び秋期の試験実施時、開始時刻が遅れた会場があったものの、それぞれ終了時刻を調整することで試験時間の過不足を生じないようにし、問題なく試験を実施することができた。

(d) 不正行為の防止及び不正行為に対する厳正な対処

該当する事実はなかった。

なお、不正行為を絶対防止するため、机の上に置くことが認められるもの^{*}以外は、全てカバンや封筒にしまわせた上で、当該カバン等を足元に置かせた。試験中は、監督員が定期的に試験室内を巡回するよう指導している。

※机の上に置けるもの・・・受験票、黒鉛筆及びシャープペンシル、鉛筆削り、消しゴム、定規、時計(アラームなど時計以外の機能は使用不可)、ハンカチ、ポケットティッシュ、目薬

(e) マニュアルを厳格に適用することによる正確かつ公平な出欠確認及び受験資格の確認

確認できた。

(f) 受験者に配付した答案用紙及び受験票(本人控えは除く。)の全数回収。

平成 23 年度特別の実施時、ある試験会場においてマニュアルどおりの対応をしなかったため、1試験室の答案用紙について会場からの返送ミスが生じた。

なお、最終的には機構側の対応によって全答案用紙を回収した。

(g) 回収した答案用紙への加筆及び訂正の防止について

該当する事実はなかった。

(h) 未使用答案用紙の欠席者及び部外者への流出防止

該当する事実はなかった。

(i) 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処結果

該当する事実はなかった。

(j) 試験会場の周辺住民の生活環境への配慮及び試験会場周辺での交通トラブルの防止

警備員を配置したため、問題も発生せずクレームもなかった。

③平成 23 年 1 月～平成 24 年 12 月に実施した試験における調査項目ニの結果

表4 受験申請者数及び実施経費

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
事業実施 機関	独立行政法人情報処理推進機構				ランスタッド株式会社	
受験申請 者数	12,220	11,399	12,807	13,212	11,437	8,015
実施経費	23,512 千円	20,892 千円	21,211 千円	19,020 千円	11,233 千円	11,521 千円

- * 平成 23 年度から平成 25 年度の報酬の支払いは、請負契約金額を3等分している。
- * 平成 23 年度受験申請者中、ITパスポート試験の受験申請者は、2,828 名であった。
- * ②(f)のとおり平成 23 年度特別に答案用紙の返送ミスが生じたため、契約書に基づく機構と落札事業者が協議の上、当該試験の報酬額の 5%相当額(金 288 千円(消費税及び地方消費税含む))を契約金額から減額した。

(5)評価

市場化テストにより、落札事業者に委託した旧北海道支部の試験実施事業に係る調査項目の達成結果については、上記のとおりであり、過去、機構で実施していた時と同様に試験問題の事前漏洩等が無かったこと、会場確保は問題なく確保できたこと等から試験が滞りなく実施できたことは評価できる。他方、会場からの返送ミスというトラブルが発生したが、機構側とも緊密に連携し、問題解決が図られたほか、再発防止に向けた取組みも十分なものであったため、平成 23 年度秋期以降においては問題なく試験を実施することができた。今後も落札事業者とも緊密に連携しつつ、適正な運営実施を行うこととしたい。

5. 仙台試験地

(1) 実施規模

表1 実施規模

	平成 21 年度春期	平成 21 年度秋期	平成 22 年度春期	平成 22 年度秋期	平成 23 年度特別	平成 23 年度秋期	平成 24 年度春期	平成 24 年度秋期
受験申請者数	4,177	4,677	6,015	4,691	3,914	3,868	2,649	2,768
会場数	4	4	4	4	7	5	2	4
事業実施機関	独立行政法人情報処理推進機構				ランスタッド株式会社			

※ 平成 23 年度特別試験の会場数は、6 月実施分と 7 月実施分の延べ会場数である。

ITパスポート試験は、平成 23 年 11 月から CBT 化したため、平成 24 年度春期以降、当事業の対象とはしていない。

(2) 調査項目

- イ. 問題冊子の漏洩の数とその原因について
- ロ. 答案用紙の回収漏れの数とその原因について
- ハ. 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処方法について
- ニ. 実施経費

(3) 調査方法

独立行政法人 情報処理推進機構(以下、「機構」という。)は、民間事業者から受けた請負事業の実施状況の報告、民間事業者へのヒアリング、受験者からの問い合わせ結果、回収した答案枚数等を通じて把握した。

(4) 調査結果

①平成 23 年 1 月～平成 24 年 12 月に実施した試験における調査項目イ、ロの結果

表2 調査項目イ、ロの目標と実績

調査項目	平成 21 年度春期	平成 21 年度秋期	平成 22 年度春期	平成 22 年度秋期	平成 23 年度特別	平成 23 年度秋期	平成 24 年度春期	平成 24 年度秋期
試験問題の事前漏洩件数(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0
答案用紙の回収漏れ件数(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0
事業実施機関	独立行政法人情報処理推進機構				ランスタッド株式会社			

なお、事前漏洩を絶対防止するため、機構と落札事業者間で、原則、次のとおり処理を行っている。

- (a) 試験日 2 日前、機構が手配した問題輸送事業者の倉庫で、問題輸送事業者立ち会いの下、落札事業者は、問題等の箱数を確認する。確認後は、問題輸送事業者が厳重に保管する。

(b) 落札事業者は、試験当日朝、問題輸送事業者が輸送してきた問題等を試験会場で受け取り、問題等の箱数を再確認するとともに、箱が未開梱であることを検品の上、問題輸送事業者が試験会場内の試験会場事務局に搬入する。

(c) 試験当日午前中の試験開始時刻に間に合うよう、試験会場事務局内で、試験区分ごとに梱包された問題等を開梱し、試験室別に受験申請者数と同数の問題冊子、答案用紙をセットし、確認を行った後、試験監督員により試験室内に運び入れる。

②平成 23 年 1 月～平成 24 年 12 月に実施した試験における調査項目への結果

(a) 機構の試験会場の借り上げ実績を参考とした概ね交通の便が良く、清潔かつ静かな環境を備えた受験申請者数全数の収容を可能とする試験会場の確保。

なお、平成 23 年度特別においては、東日本大震災の影響により会場確保が困難であったため、落札事業者と機構は連携を取り機構側が紹介した会場も借用し、落札事業者は試験を実施した。

試験会場に関する結果については、機構側の協力もあり表3のとおり、公共交通機関を利用してアクセスすることが可能な会場(バス便の少ない会場では、臨時バスの手配)を選定しており、機構が示した条件を満たしていることを確認した。

表3 借用会場

(単位:人数)

試験会場	平成 21 年度春 期	平成 21 年度秋 期	平成 22 年度春 期	平成 22 年度秋 期	平成 23 年度特 別	平成 23 年度秋 期	平成 24 年度春 期	平成 24 年度秋 期
東北電子専門学校	1,476	1,566	1,518	1,587		964	1,418	1,159
東北文化学園大学	2,035	2,038	1,886	1,960		1,416	1,231	
東北工業大学			1,003					
聖和学園高等学校 薬師堂キャンパス	657	1,058		1,134				
宮城大学 大和キャンパス					814			
仙台保健福祉専門学校					1,266			
仙台医療福祉専門学校(中央校舎本館)					729	708		792
仙台大原簿記専門学校(中央校舎2号館)					311	303		293
仙台医療福祉専門学校(中央校舎3号館)					567	477		524
仙台医療福祉専門学校(中央校舎3号館ANNEX)					47			
東京IT会計専門学校 仙台校					180			
仙台合同庁舎	9	15	9	10				
合計	4,177	4,677	4,416	4,691	3,914	3,868	2,649	2,768
事業実施機関	独立行政法人情報処理推進機構				ランスタッド株式会社			

(b) 試験の座席配置については、原則、1 人用机は、隣の机と離して配置し、複数人数の長机では、隣席を空けて試験定員に応じて配置した。

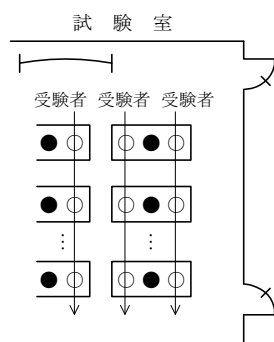


図 座席配置の例(『監督員マニュアル』から抜粋)

(c) 試験時間の過不足の防止について

平成 23 年度特別及び秋期の試験実施時、開始時刻が遅れた会場や開始時刻を早めて試験を開始した会場があったものの、それぞれ終了時刻を調整することで試験時間の過不足を生じないようにし、問題なく試験を実施することができた。

(d) 不正行為の防止及び不正行為に対する厳正な対処

該当する事実はなかった。

なお、不正行為を絶対防止するため、机の上に置くことが認められるもの*以外は、全てカバンや封筒にしまわせた上で、当該カバン等を足元に置かせた。試験中は、監督員が定期的に試験室内を巡回するよう指導している。

※机の上に置けるもの・・・受験票、黒鉛筆及びシャープペンシル、鉛筆削り、消しゴム、定規、時計(アラームなど時計以外の機能は使用不可)、ハンカチ、ポケットティッシュ、目薬

(e) マニュアルを厳格に適用することによる正確かつ公平な出欠確認及び受験資格の確認確認できた。

(f) 受験者に配付した答案用紙及び受験票(本人控えは除く。)の全数回収。
全て回収できた。

(g) 回収した答案用紙への加筆及び訂正の防止について
該当する事実はなかった。

(h) 未使用答案用紙の欠席者及び部外者への流出防止
該当する事実はなかった。

(i) 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処結果
該当する事実はなかった。

(j) 試験会場の周辺住民の生活環境への配慮及び試験会場周辺での交通トラブルの防止
警備員を配置したため、問題も発生せずクレームもなかった。

③平成 23 年 1 月～平成 24 年 12 月に実施した試験における調査項目ニの結果

表4 受験申請者数及び実施経費

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
事業実施機関	独立行政法人情報処理推進機構				ランスタッド株式会社	
受験申請者数	9,278	8,180	8,854	10,706	7,782	5,417
実施経費	26,569 千円	23,514 千円	23,696 千円	21,049 千円	11,851 千円	11,851 千円

* 平成 23 年度から平成 25 年度の報酬の支払いは、請負契約金額を3等分している。

* 平成 23 年度受験申請者中、ITパスポート試験の受験申請者は、2,002 名であった。

(5) 評価

市場化テストにより、落札事業者に委託した旧東北支部の試験実施事業に係る調査項目の達成結果については、上記のとおりであり、過去、機構で実施していた時と同様に試験問題の事前漏洩等が無かったこと、会場確保は事業者自身で確保できたこと等から試験が滞りなくできたことは評価できる。

6. 広島試験地

(1) 実施規模

表1 実施規模

	平成 21 年度春期	平成 21 年度秋期	平成 22 年度春期	平成 22 年度秋期	平成 23 年度特別	平成 23 年度秋期	平成 24 年度春期	平成 24 年度秋期
受験申請者数	4,343	5,093	4,322	5,075	4,034	4,299	2,568	2,856
会場数	5	5	4	5	4	5	3	3
事業実施機関	独立行政法人 情報処理 推進機構	株式会社ICSコンベンションデザイン			ランスタッド株式会社			

※ 平成 23 年度特別試験の会場数は、6 月実施分と 7 月実施分の延べ会場数である。

ITパスポート試験は、平成 23 年 11 月から CBT 化したため、平成 24 年度春期以降、当事業の対象とはしていない。

(2) 調査項目

- イ. 問題冊子の漏洩の数とその原因について
- ロ. 答案用紙の回収漏れの数とその原因について
- ハ. 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処方法について
- ニ. 実施経費

(3) 調査方法

独立行政法人 情報処理推進機構(以下、「機構」という。)は、民間事業者から受けた請負事業の実施状況の報告、民間事業者へのヒアリング、受験者からの問い合わせ結果、回収した答案枚数等を通じて把握した。

(4) 調査結果

- ①平成 23 年 1 月～平成 24 年 12 月に実施した試験における調査項目イ、ロの結果

表2 調査項目イ、ロの目標と実績

調査項目	平成 21 年度春期	平成 21 年度秋期	平成 22 年度春期	平成 22 年度秋期	平成 23 年度特別	平成 23 年度秋期	平成 24 年度春期	平成 24 年度秋期
試験問題の事前漏洩件数(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0
答案用紙の回収漏れ件数(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0
事業実施機関	独立行政法人 情報処理 推進機構	株式会社ICSコンベンションデザイン			ランスタッド株式会社			

なお、事前漏洩を絶対防止するため、機構と落札事業者間で、原則、次のとおり処理を行っている。

- (a) 試験日2日前、機構が手配した問題輸送事業者の倉庫で、問題輸送事業者立ち会いの下、落札事業者は、問題等の箱数を確認する。確認後は、問題輸送事業者が厳重に保管する。
- (b) 落札事業者は、試験当日朝、問題輸送事業者が輸送してきた問題等を試験会場で受け取り、問題等の箱数を再確認するとともに、箱が未開梱であることを検品の上、問題輸送事業者が試験会場内の試験会場事務局に搬入する。
- (c) 試験当日午前の試験開始時刻に間に合うよう、試験会場事務局内で、試験区分ごとに梱包された問題等を開梱し、試験室別に受験申請者数と同数の問題冊子、答案用紙をセットし、確認を行った後、試験監督員により試験室内に運び入れる。

②平成23年1月～平成24年12月に実施した試験における調査項目への結果

- (a) 機構の試験会場の借り上げ実績を参考とした概ね交通の便が良く、清潔かつ静かな環境を備えた受験申請者数全数の収容を可能とする試験会場の確保。
試験会場に関する結果は表3のとおり、公共交通機関を利用してアクセスすることが可能な会場を選定しており、機構が示した条件を満たしていることを確認した。

表3 借用会場

(単位:人数)

試験会場	平成21年度春期	平成21年度秋期	平成22年度春期	平成22年度秋期	平成23年度特別	平成23年度秋期	平成24年度春期	平成24年度秋期
広島工業大学	2,775	3,560	2,888	3,437	2,417	2,369	841	1,729
広島情報専門学校	316	520	440	520	506	500	500	440
県立広島大学	751	487	990	923	1,109	1,215	1,227	687
広島コンピュータ専門学校	491	516						
海上自衛隊幹部候補生学校				188		207		
広島トレーニングスクール	10	10	4	7	2	8		
合計	4,343	5,093	4,322	5,075	4,034	4,299	2,568	2,856
事業実施機関	独立行政法人情報処理推進機構	株式会社ICSコンベンションデザイン			ランスタッド株式会社			

- (b) 試験の座席配置については、原則、1人用机は、隣の机と離して配置し、複数人数の長机では、隣席を空けて試験定員に応じて配置した。

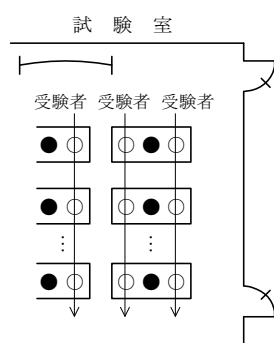


図 座席配置の例(『監督員マニュアル』から抜粋)

(c) 試験時間の過不足の防止について

平成 24 年度春期及び秋期の試験実施時、開始時刻が遅れた会場があったものの、それぞれ終了時刻を調整することで試験時間の過不足を生じないようにし、問題なく試験を実施することができた。

(d) 不正行為の防止及び不正行為に対する厳正な対処

該当する事実はなかった。

なお、不正行為を絶対防止するため、机の上に置くことが認められるもの^{*}以外は、全てカバンや封筒にしまわせた上で、当該カバン等を足元に置かせた。試験中は、監督員が定期的に試験室内を巡回するよう指導している。

※机の上に置けるもの・・・受験票、黒鉛筆及びシャープペンシル、鉛筆削り、消しゴム、定規、時計(アラームなど時計以外の機能は使用不可)、ハンカチ、ポケットティッシュ、目薬

(e) マニュアルを厳格に適用することによる正確かつ公平な出欠確認及び受験資格の確認

確認できた。

(f) 受験者に配付した答案用紙及び受験票(本人控えは除く。)の全数回収。

全て回収できた。

(g) 回収した答案用紙への加筆及び訂正の防止について

該当する事実はなかった。

(h) 未使用答案用紙の欠席者及び部外者への流出防止

該当する事実はなかった。

(i) 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処結果

該当する事実はなかった。

(j) 試験会場の周辺住民の生活環境への配慮及び試験会場周辺での交通トラブルの防止

警備員を配置したため、問題も発生せずクレームもなかった。

③平成 23 年 1 月～平成 24 年 12 月に実施した試験における調査項目ニの結果

表4 受験申請者数及び実施経費

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度 春期	平成 21 年度 秋期	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
事業実施 機関	独立行政法人情報処理推進機構			株式会社 ICS コンベンション デザイン		ランスタッド株式会社	
受験申請 者数	9,168	8,180	4,343	5,093	9,397	8,333	5,424
実施経費	16,063 千円	14,468 千円	5,519 千円	4,175 千円	8,611 千円	9,158 千円	9,158 千円

* 平成 23 年度から平成 25 年度の報酬の支払いは、請負契約金額を3等分している。

* 平成 23 年度受験申請者中、ITパスポート試験の受験申請者は、2,504 名であった。

(5) 評価

市場化テストにより、落札事業者に委託した旧中国支部の試験実施事業に係る調査項目の達成結果については、上記のとおりであり、過去、機構で実施していた時と同様に試験問題の事前漏洩等が無かったこと、会場確保は問題なく確保できたこと等から試験が滞りなく実施できたことは評価できる。

また、毎試験時、会場責任者、副責任者については社員が務めており、主任管理員や試験室のキーマンである主任監督員は、同じ者をできる限り採用していること及び集合教育も経験者と経験が浅い者の2種類を実施していることが、試験運営に関するサービスの質の確保につながった。

7. 高松試験地

(1) 実施規模

表1 実施規模

	平成 21 年度春期	平成 21 年度秋期	平成 22 年度春期	平成 22 年度秋期	平成 23 年度特別	平成 23 年度秋期	平成 24 年度春期	平成 24 年度秋期
受験申請者数	1,061	1,208	1,146	1,176	1,120	1,029	780	847
会場数	1	1	1	1	2	1	1	1
事業実施機関	株式会社全国試験運営センター				株式会社全国試験運営センター			

※ 平成 23 年度特別試験の会場数は、6 月実施分と 7 月実施分の延べ会場数である。

ITパスポート試験は、平成 23 年 11 月から CBT 化したため、平成 24 年度春期以降、当事業の対象とはしていない。

(2) 調査項目

- イ. 問題冊子の漏洩の数とその原因について
- ロ. 答案用紙の回収漏れの数とその原因について
- ハ. 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処方法について
- ニ. 実施経費

(3) 調査方法

独立行政法人 情報処理推進機構(以下、「機構」という。)は、民間事業者から受けた請負事業の実施状況の報告、民間事業者へのヒアリング、受験者からの問い合わせ結果、回収した答案枚数等を通じて把握した。

(4) 調査結果

①平成 23 年 1 月～平成 24 年 12 月に実施した試験における調査項目イ、ロの結果

表2 調査項目イ、ロの目標と実績

調査項目	平成 21 年度春期	平成 21 年度秋期	平成 22 年度春期	平成 22 年度秋期	平成 23 年度特別	平成 23 年度秋期	平成 24 年度春期	平成 24 年度秋期
試験問題の事前漏洩件数(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0
答案用紙の回収漏れ件数(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0
事業実施機関	株式会社全国試験運営センター				株式会社全国試験運営センター			

なお、事前漏洩を絶対防止するため、機構と落札事業者間で、原則、次のとおり処理を行っている。

- (a) 試験日 2 日前、機構が手配した問題輸送事業者の倉庫で、問題輸送事業者立ち会いの下、落札事業者は、問題等の箱数を確認する。確認後は、問題輸送事業者が厳重に保管する。

(b) 落札事業者は、試験当日朝、問題輸送事業者が輸送してきた問題等を試験会場で受け取り、問題等の箱数を再確認するとともに、箱が未開梱であることを検品の上、問題輸送事業者が試験会場内の試験会場事務局に搬入する。

(c) 試験当日午前の試験開始時刻に間に合うよう、試験会場事務局内で、試験区分ごとに梱包された問題等を開梱し、試験室別に受験申請者数と同数の問題冊子、答案用紙をセットし、確認を行った後、試験監督員により試験室内に運び入れる。

②平成 23 年 1 月～平成 24 年 12 月に実施した試験における調査項目ハの結果

(a) 機構の試験会場の借り上げ実績を参考とした概ね交通の便が良く、清潔かつ静かな環境を備えた受験申請者数全数の収容を可能とする試験会場の確保。

試験会場に関する結果は表3のとおり、公共交通機関を利用してアクセスすることが可能な会場(バス便の少ない会場へは、臨時バスの手配)を選定しており、機構が示した条件を満たしていることを確認した。

表3 借用会場 (単位:人数)

試験会場	平成 21 年度春 期	平成 21 年度秋 期	平成 22 年度春 期	平成 22 年度秋 期	平成 23 年度特 別	平成 23 年度秋 期	平成 24 年度春 期	平成 24 年度秋 期
香川大学教育学部	1,061		1,146				780	
英明高等学校		1,208		1,176		1,029		847
香川大学工学部					1,120			
合計	1,061	1,208	1,146	1,176	1,120	1,029	780	847
事業実施機関	株式会社全国試験運営センター				株式会社全国試験運営センター			

(b) 試験の座席配置については、原則、1 人用机は、隣の机と離して配置し、複数人数の長机では、隣席を空けて試験定員に応じて配置した。

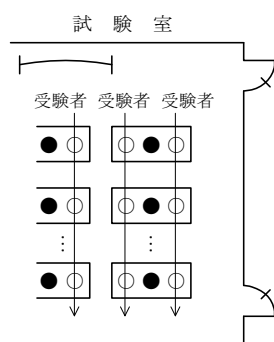


図 座席配置の例(『監督員マニュアル』から抜粋)

(c) 試験時間の過不足の防止について
該当する事実はなかった。

(d) 不正行為の防止及び不正行為に対する厳正な対処
該当する事実はなかった。

なお、不正行為を絶対防止するため、机上に置くことが認められるもの*以外は、全てカバンや封筒にしまわせた上で、当該カバン等を足元に置かせた。試験中は、監督員が定期的に試験室内を巡回するよう指導している。

※机上に置けるもの…受験票、黒鉛筆及びシャープペンシル、鉛筆削り、消しゴム、定規、時計(アラームなど時計以外の機能は使用不可)、ハンカチ、ポケットティッシュ、目薬

(e) マニュアルを厳格に適用することによる正確かつ公平な出欠確認及び受験資格の確認確認できた。

(f) 受験者に配付した答案用紙及び受験票(本人控えは除く。)の全数回収。全て回収できた。

(g) 回収した答案用紙への加筆及び訂正の防止について該当する事実はなかった。

(h) 未使用答案用紙の欠席者及び部外者への流出防止該当する事実はなかった。

(i) 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処結果該当する事実はなかった。

(j) 試験会場の周辺住民の生活環境への配慮及び試験会場周辺での交通トラブルの防止警備員を配置したため、問題も発生せずクレームもなかった。

③平成 23 年 1 月～平成 24 年 12 月に実施した試験における調査項目ニの結果

表4 受験申請者数及び実施経費

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
事業実施機関	独立行政法人情報処理推進機構	株式会社全国試験運営センター			株式会社全国試験運営センター	
受験申請者数	2,372	2,094	2,269	2,322	2,149	1,627
実施経費	7,449 千円	4,214 千円	4,214 千円	4,214 千円	4,019 千円	4,019 千円

* 平成 23 年度から平成 25 年度の報酬の支払いは、請負契約金額を3等分している。

* 平成 23 年度受験申請者中、ITパスポート試験の受験申請者は、507 名であった。

(5) 評価

市場化テストにより、落札事業者に委託した旧四国支部の試験実施事業に係る調査項目の達成結果については、上記のとおりであり、過去、機構で実施していた時と同様に試験問題の事前漏洩等が無かったこと、会場確保は問題なく確保できたこと等から試験が滞りなく実施できたことは評価できる。

また、毎試験時、会場責任者、副責任者及び試験室のキーマンである主任監督員に対して、集合教育を実施していることが、試験運営に関するサービスの質の確保につながった。

8. 福岡試験地

(1) 実施規模

表1 実施規模

	平成 21 年度春期	平成 21 年度秋期	平成 22 年度春期	平成 22 年度秋期	平成 23 年度特別	平成 23 年度秋期	平成 24 年度春期	平成 24 年度秋期
受験申請者数	6,981	7,896	6,918	7,688	6,572	6,557	4,646	4,915
会場数	5	5	5	5	5	4	3	2
事業実施機関	独立行政法人情報処理推進機構				ランスタッド株式会社			

※ 平成 23 年度特別試験の会場数は、6 月実施分と 7 月実施分の延べ会場数である。

ITパスポート試験は、平成 23 年 11 月から CBT 化したため、平成 24 年度春期以降、当事業の対象とはしていない。

(2) 調査項目

- イ. 問題冊子の漏洩の数とその原因について
- ロ. 答案用紙の回収漏れの数とその原因について
- ハ. 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処方法について
- ニ. 実施経費

(3) 調査方法

独立行政法人 情報処理推進機構(以下、「機構」という。)は、民間事業者から受けた請負事業の実施状況の報告、民間事業者へのヒアリング、受験者からの問い合わせ結果、回収した答案枚数等を通じて把握した。

(4) 調査結果

①平成 23 年 1 月～平成 24 年 12 月に実施した試験における調査項目イ、ロの結果

表2 調査項目イ、ロの目標と実績

調査項目	平成 21 年度春期	平成 21 年度秋期	平成 22 年度春期	平成 22 年度秋期	平成 23 年度特別	平成 23 年度秋期	平成 24 年度春期	平成 24 年度秋期
試験問題の事前漏洩件数(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0
答案用紙の回収漏れ件数(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0
事業実施機関	独立行政法人情報処理推進機構				ランスタッド株式会社			

なお、事前漏洩を絶対防止するため、機構と落札事業者間で、原則、次のとおり処理を行っている。

- (a) 試験日 2 日前、機構が手配した問題輸送事業者の倉庫で、問題輸送事業者立ち会いの下、落札事業者は、問題等の箱数を確認する。確認後は、問題輸送事業者が厳重に保管する。

(b) 落札事業者は、試験当日朝、問題輸送事業者が輸送してきた問題等を試験会場で受け取り、問題等箱数を再確認するとともに、問題箱等が未開梱であることを検品の上、問題輸送事業者が試験会場内の試験会場事務局に搬入する。

(c) 試験当日午前の試験開始時刻に間に合うよう、試験会場事務局内で、試験区分ごとに梱包された問題等を開梱し、試験室別に受験申請者数と同数の問題冊子、答案用紙をセットし、確認を行った後、試験監督員により試験室内に運び入れる。

②平成 23 年 1 月～平成 24 年 12 月に実施した試験における調査項目ハの結果

(a) 機構の試験会場の借り上げ実績を参考とした概ね交通の便が良く、清潔かつ静かな環境を備えた受験申請者数全数の収容を可能とする試験会場の確保。

試験会場に関する結果は表3のとおり、公共交通機関を利用してアクセスすることが可能な会場を選定しており、機構が示した条件を満たしていることを確認した。

表3 借用会場 (単位:人数)

試験会場	平成 21 年度春 期	平成 21 年度秋 期	平成 22 年度春 期	平成 22 年度秋 期	平成 23 年度特 別	平成 23 年度秋 期	平成 24 年度春 期	平成 24 年度秋 期
福岡工業大学 1	2,290	2,873	2,175	2,702		2,962	1,990	3,650
福岡工業大学 2	993	1,092	982	989		1,251		
純心学園大学(東和大学)	949	1,129	844	1,210	756			
第一薬科大学	1,495	1,450	1,619	1,489	1,279			
KCS福岡情報専門学校	1,254	1,352	1,298	1,298	1,477	1,070	1,167	1,265
九州産業大学					3,060	1,274		
西南学院大学							1,489	
合計	6,981	7,896	6,918	7,688	6,572	6,557	4,646	4,915
事業実施機関	独立行政法人情報処理推進機構				ランスタッド株式会社			

(b) 試験の座席配置については、原則、1 人用机は、隣の机と離して配置し、複数人数の長机では、隣席を空けて試験定員に応じて配置した。

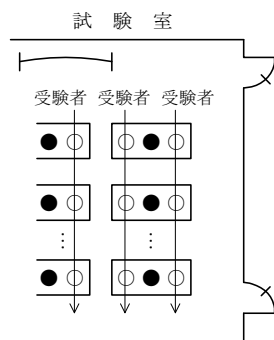


図 座席配置の例(『監督員マニュアル』から抜粋)

(c) 試験時間の過不足の防止について

平成 24 年度春期及び秋期の試験実施時、開始時刻が遅れた会場があったものの、それぞれ終了時刻を調整することで試験時間の過不足を生じないようにし、問題なく試験を実施することができた。

(d) 不正行為の防止及び不正行為に対する厳正な対処

該当する事実はなかった。

なお、不正行為を絶対防止するため、机の上に置くことが認められるもの*以外は、全てカバンや封筒にしまわせた上で、当該カバン等を足元に置かせた。試験中は、監督員が定期的に試験室内を巡回するよう指導している。

※机の上に置けるもの・・・受験票、黒鉛筆及びシャープペンシル、鉛筆削り、消しゴム、定規、時計(アラームなど時計以外の機能は使用不可)、ハンカチ、ポケットティッシュ、目薬

(e) マニュアルを厳格に適用することによる正確かつ公平な出欠確認及び受験資格の確認確認できた。

(f) 受験者に配付した答案用紙及び受験票(本人控えは除く。)の全数回収。全て回収できた。

(g) 回収した答案用紙への加筆及び訂正の防止について
該当する事実はなかった。

(h) 未使用答案用紙の欠席者及び部外者への流出防止
該当する事実はなかった。

(i) 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処結果
該当する事実はなかった。

(j) 試験会場の周辺住民の生活環境への配慮及び試験会場周辺での交通トラブルの防止
警備員を配置したため、問題も発生せずクレームもなかった。

③平成 23 年 1 月～平成 24 年 12 月に実施した試験における調査項目ニの結果

表4 受験申請者数及び実施経費

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
事業実施機関	独立行政法人情報処理推進機構				ランスタッド株式会社	
受験申請者数	15,067	13,781	14,877	14,606	13,129	9,561
実施経費	46,910 千円	38,294 千円	41,624 千円	32,091 千円	16,789 千円	16,789 千円

* 平成 23 年度から平成 25 年度の報酬の支払いは、請負契約金額を3等分している。

* 平成 23 年度受験申請者中、ITパスポート試験の受験申請者は、3,217 名であった。

(5) 評価

市場化テストにより、落札事業者に委託した旧九州支部の試験実施事業に係る調査項目の達成結果については、上記のとおりであり、過去、機構で実施していた時と同様に試験問題の事前漏洩等が無かったこと、会場確保は問題なく確保できたこと等から試験が滞りなく実施できたことは評価できる。

また、毎試験時、会場責任者、副責任者については社員が務めており、主任管理員や試験室のキーマンである主任監督員は、同じ者をできる限り採用していること及び集合教育も経験者と経験が浅い者の2種類を実施していることが、試験運営に関するサービスの質の確保につながった。

9. 那覇試験地

(1) 実施規模

表1 実施規模

	平成 21 年度春期	平成 21 年度秋期	平成 22 年度春期	平成 22 年度秋期	平成 23 年度特別	平成 23 年度秋期	平成 24 年度春期	平成 24 年度秋期
受験申請者数	1,778	2,164	2,087	2,419	2,137	1,930	1,065	1,183
会場数	1	2	2	2	5	2	1	1
事業実施機関	那覇商工会議所				那覇商工会議所			

※ 平成 23 年度特別試験の会場数は、6 月実施分と 7 月実施分の延べ会場数である。

ITパスポート試験は、平成 23 年 11 月から CBT 化したため、平成 24 年度春期以降、当事業の対象とはしていない。

(2) 調査項目

- イ. 問題冊子の漏洩の数とその原因について
- ロ. 答案用紙の回収漏れの数とその原因について
- ハ. 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処方法について
- ニ. 実施経費

(3) 調査方法

独立行政法人 情報処理推進機構（以下、「機構」という。）は、民間事業者から受けた請負事業の実施状況の報告、民間事業者へのヒアリング、受験者からの問い合わせ結果、回収した答案枚数等を通じて把握した。

(4) 調査結果

①平成 23 年 1 月～平成 24 年 12 月に実施した試験における調査項目イ、ロの結果

表2 調査項目イ、ロの目標と実績

調査項目	平成 21 年度春期	平成 21 年度秋期	平成 22 年度春期	平成 22 年度秋期	平成 23 年度特別	平成 23 年度秋期	平成 24 年度春期	平成 24 年度秋期
試験問題の事前漏洩件数(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0
答案用紙の回収漏れ件数(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0
事業実施機関	那覇商工会議所				那覇商工会議所			

なお、事前漏洩を絶対防止するため、機構と落札事業者間で、原則、次のとおり処理を行っている。

- (a) 試験日 2 日前、機構が手配した問題輸送事業者の倉庫で、問題輸送事業者立ち会いの下、落札事業者は、問題等の箱数を確認する。確認後は、問題輸送事業者が厳重に保管する。

(b) 落札事業者は、試験当日朝、問題輸送事業者が輸送してきた問題等を試験会場で受け取り、問題等の箱数を再確認するとともに、箱が未開梱であることを検品の上、問題輸送事業者が試験会場内の試験会場事務局に搬入する。

(c) 試験当日午前中の試験開始時刻に間に合うよう、試験会場事務局内で、試験区分ごとに梱包された問題等を開梱し、試験室別に受験申請者数と同数の問題冊子、答案用紙をセットし、確認を行った後、試験監督員により試験室内に運び入れる。

②平成 23 年 1 月～平成 24 年 12 月に実施した試験における調査項目ハの結果

(a) 機構の試験会場の借り上げ実績を参考とした概ね交通の便が良く、清潔かつ静かな環境を備えた受験申請者数全数の収容を可能とする試験会場の確保。

結果は、試験会場は表3のとおり、公共交通機関を利用してアクセスすることが可能な会場を選定しており、機構が示した条件を満たしていることを確認した。

表3 借用会場 (単位: 人数)

試験会場	平成 21年 度春期	平成 21年 度秋期	平成 22年 度春期	平成 22年 度秋期	平成 23年 度特別	平成 23年 度秋期	平成 24年 度春期	平成 24年 度秋期
沖縄大学	1,778	1,622	1,463	1,959	1,157	1,465	1,065	1,183
県立那覇商業高等学校			624					
県立南部商業高等学校				460	480	465		
沖縄国際大学					200			
小禄中学校		542						
沖縄県市町村自治会館					300			
合計	1,778	2,164	2,087	2,419	2,137	1,930	1,065	1,183
事業実施機関	那覇商工会議所				那覇商工会議所			

(b) 試験の座席配置については、原則、1 人用机は、隣の机と離して配置し、複数人数の長机では、隣席を空けて試験定員に応じて配置した。

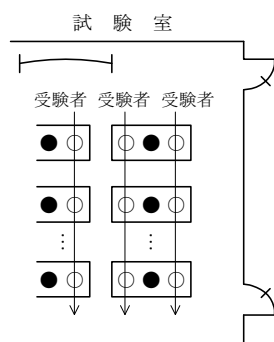


図 座席配置の例(『監督員マニュアル』から抜粋)

(c) 試験時間の過不足の防止について

平成 23 年度秋期試験時、開始時刻が遅れた会場があったものの、終了時刻を調整することで、試験時間の過不足を生じないようにし、問題なく試験を実施することができた。

(d) 不正行為の防止及び不正行為に対する厳正な対処

該当する事実はなかった。

なお、不正行為を絶対防止するため、机上に置くことが認められるもの^{*}以外は、全てカバンや封筒にしまわせた上で、当該カバン等を足元に置かせた。試験中は、監督員が定期的に試験室内を巡回するよう指導している。

※机の上に置けるもの・・・受験票、黒鉛筆及びシャープペンシル、鉛筆削り、消しゴム、定規、時計(アラームなど時計以外の機能は使用不可)、ハンカチ、ポケットティッシュ、目薬

(e) マニュアルを厳格に適用することによる正確かつ公平な出欠確認及び受験資格の確認確認できた。

(f) 受験者に配付した答案用紙及び受験票(本人控えは除く。)の全数回収。全て回収できた。

(g) 回収した答案用紙への加筆及び訂正の防止について
該当する事実はなかった。

(h) 未使用答案用紙の欠席者及び部外者への流出防止
該当する事実はなかった。

(i) 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処結果
該当する事実はなかった。

(j) 試験会場の周辺住民の生活環境への配慮及び試験会場周辺での交通トラブルの防止
警備担当を配置したため、問題も発生せずクレームもなかった。

③平成 23 年 1 月～平成 24 年 12 月に実施した試験における調査項目ニの結果

表4 受験申請者数及び実施経費

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
事業実施機関	独立行政法人 情報処理推進機構	那覇商工会議所			那覇商工会議所	
受験申請者数	3,623	3,471	3,942	4,506	4,067	2,248
実施経費	3,306 千円	3,333 千円	3,333 千円	3,333 千円	4,687 千円	4,687 千円

* 平成 23 年度から平成 25 年度の報酬の支払いは、請負契約金額を3等分している。

* 平成 23 年度受験申請者中、ITパスポート試験の受験申請者は、1,673 名であった。

(5) 評価

市場化テストにより、落札事業者に委託した旧沖縄支部の試験実施事業に係る調査項目の達成結果については、上記のとおりであり、過去、機構で実施していた時と同様に試験問題の事前漏洩等が無かったこと、会場確保は問題なく確保できたこと等から試験が滞りなく実施できたことは評価

できる。

また、毎試験時、会場責任者、副責任者、主任管理員等については社員が務めており、派遣会社に依頼している主任監督員等も、できる限り同じ者を採用していることが、試験運営に関するサービスの質の確保につながった。

10. 東京地域(東京試験地、八王子試験地)

(1)実施規模

表1 実施規模

	平成 21 年度春期	平成 21 年度秋期	平成 22 年度春期	平成 22 年度秋期	平成 23 年度特別	平成 23 年度秋期	平成 24 年度春期	平成 24 年度秋期
受験申請者数	74,081	76,950	82,396	78,315	81,189	67,533	68,346	67,752
会場数	62	72	69	69	101	62	53	55
事業実施機関	独立行政法人情報処理推進機構						日本通運株式会社	

※ 平成 23 年度特別試験の会場数は、6 月実施分と 7 月実施分の延べ会場数である。
平成 21 年度春期～23 年度秋期の受験申請者数から、IT パスポート試験は除いている。

(2)調査項目

- イ. 問題冊子の漏洩の数とその原因について
- ロ. 答案用紙の回収漏れの数とその原因について
- ハ. 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処方法について
- ニ. 実施経費

(3)調査方法

独立行政法人 情報処理推進機構(以下、「機構」という。)は、民間事業者から受けた請負事業の実施状況の報告、民間事業者へのヒアリング、受験者からの問い合わせ結果、回収した答案枚数等を通じて把握した。

(4)調査結果

①平成 24 年 1 月～平成 24 年 12 月に実施した試験における調査項目イ、ロの結果

表2 調査項目イ、ロの目標と実績

調査項目	平成 21 年度春期	平成 21 年度秋期	平成 22 年度春期	平成 22 年度秋期	平成 23 年度特別	平成 23 年度秋期	平成 24 年度春期	平成 24 年度秋期
試験問題の事前漏洩件数(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0
答案用紙の回収漏れ件数(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0
事業実施機関	独立行政法人情報処理推進機構						日本通運株式会社	

なお、事前漏洩を絶対防止するため、機構と落札事業者間で、原則、次のとおり処理を行っている。

- (a) 試験日 2 日前、機構が手配した問題輸送事業者の倉庫で、問題輸送事業者立ち会いの下、落札事業者は、問題等の箱数を確認する。確認後は、問題輸送事業者が厳重に保管する。
- (b) 落札事業者は、試験当日朝、問題輸送事業者が輸送してきた問題等を試験会場で受け取り、問

題等の箱数を再確認するとともに、箱が未開梱であることを検品の上、問題輸送事業者が試験会場内の試験会場事務局に搬入する。

- (c) 試験当日午前の試験開始時刻に間に合うよう、試験会場事務局内で、試験区分ごとに梱包された問題等を開梱し、試験室別に受験申請者数と同数の問題冊子、答案用紙をセットし、確認を行った後、試験監督員により試験室内に運び入れる。

②平成24年1月～平成24年12月に実施した試験における調査項目ハの結果

- (a) 機構の試験会場の借り上げ実績を参考とした概ね交通の便が良く、清潔かつ静かな環境を備えた受験申請者数全数の収容を可能とする試験会場の確保。

試験会場に関する結果については、機構側の協力もあり表3のとおり、公共交通機関を利用してアクセスすることが可能な会場(バス便の少ない会場では、臨時バスの手配)を選定しており、機構が示した条件を満たしていることを確認した。

表3 借用会場

東京試験地

(単位:人数)

試験会場	平成 21年 度春 期	平成 21年 度秋 期	平成 22年 度春 期	平成 22年 度秋 期	平成 23年 度特 別	平成 23年 度秋 期	平成 24年 度春 期	平成 24年 度秋 期
学習院大学					1,454			
日本大学(経済学部)			2,294		1,090		2,200	
専修大学					1,226			
明治大学(駿河台)			908					
大原簿記学校	400	770	500	700	576	375	664	717
東京大学(法、文)	930	1,040					700	990
東京大学 駒場キャンパス							2,724	
東京電機大学			1,897	1,926		2,000		
立志舎 BEST COLLEGES	651	806	700	700	660	554	554	554
立志舎 BEST COLLEGES B					200		339	
日本大学理工学部(駿河台1号館)					3,602			
明治学院大学	2,604	1,692	2,105	2,500		2,380	800	2,218
東海大学 高輪キャンパス					906	900	900	800
読売理工医療福祉専門学校	405		300					
城北学園(中・高校)	1,320	1,378	1,000	1,342	1,259	1,060	900	1,350
モード学園 コクーンタワー	1,024	809	700	730	1,960	900	1,206	1,316
早稲田大学本部A	3,070		2,117		1,685		2,500	
早稲田大学本部B			3,500		1,200		2,214	
早稲田大学(理工学部)	2,490	1,972	2,000	2,400				
関東第一高等学校	1,282		900	1,239	1,200	1,118		1,160
中央大学(理工学部)	2,348							
國學院大學渋谷キャンパス	1,550		2,000		693		2,205	
東洋大学(白山)			2,238		1,000			

試験会場	平成 21年 度春 期	平成 21年 度秋 期	平成 22年 度春 期	平成 22年 度秋 期	平成 23年 度特 別	平成 23年 度秋 期	平成 24年 度春 期	平成 24年 度秋 期
立教大学A	2,600	2,600	2,000	2,200		2,200	2,199	1,462
東京電機大学 東京千住キャンパス								3,144
駒澤大学	1,960		2,000				2,444	
大東文化大学	1,800		1,811				800	
日本工学院専門学校	982	1,344		1,574	856	2,267	1,706	2,118
東京大学(工学部)					350			
東京女学館(渋谷)	1,015	800						
青山学院大学渋谷キャンパス	858		800				1,502	
東京都市大学 世田谷キャンパス	1,335	1,120	1,500	2,600	3,148	2,591	3,600	4,309
日本大学 商学部								1,354
成城大学	1,908		1,700	2,300		2,156	1,417	
NEC田町研修センター		646						
昭和女子大学	1,115		1,700		500			
高千穂大学	1,379				1,370			
日本電子専門学校	722	659	520	520	490	545	622	551
正則高等学校		662						
慶應義塾大学 三田キャンパス						2,140		2,171
国土館大学						3,000	1,354	3,093
お茶の水女子大学	733		400					
テーオーシー五反田		836		870		1,044		
日本工業大学駒場高等学校	1,150	1,422	1,101	1,494	900	1,187		
芝浦工業大学中学高等学校	920	950	530	854	200	950	500	887
戸板女子短期大学	0							
明治大学 和泉キャンパス	3,500	3,500	2,800	3,800	3,772	3,997	3,897	4,900
立志舎BEST COLLEGES杉並学園本部					252			
目白大学新宿キャンパス	2,000	2,120	1,400	1,400		1,600	1,600	
芝浦工業大学豊洲キャンパス	188		600				1,000	
自由ヶ丘学園高等学校		644		600		600		687
東京電子専門学校(池袋)	800	1,267	800	834	776	800	1,060	1,213
上智大学		572		1,200				
大原情報ビジネス専門学校	280	280	280	240	640	240	360	359
フォーラム8	1,776	1,604	1,776	2,200	2,353	2,238		
東京都立産業貿易センター(台東館)	2,280	2,284	2,284	2,556		2,556	2,556	2,556
立教大学B	2,040	1,808	2,000	1,416	897	962	2,100	
東京医療保健大学五反田キャンパス		457		507				500
東京医療保健大学世田谷キャンパス	355	528	300	300	1,000	614		605
東京流通センター		3,250	3,000	3,800	3,764	2,264		
東京国際展示場(会議棟)		1,224	1,315	1,400		1,300		
成立学園高等学校		828						
多摩大学目黒中学・高等学校	900		800	843	810	810		1,020

試験会場	平成 21年 度春 期	平成 21年 度秋 期	平成 22年 度春 期	平成 22年 度秋 期	平成 23年 度特 別	平成 23年 度秋 期	平成 24年 度春 期	平成 24年 度秋 期
東京家政大学		892						
明治学院高等学校		798		700		760		762
学習院女子大学	691	797						
東京栄養食糧専門学校	690	900	690	690	1,380	690		
後藤学園(武蔵野栄養専門学校)	900		910	900	1,615			980
日本福祉教育専門学校(高田校舎)	570	570	570	570	400	570		542
東京総合美容専門学校	640	640	600	600	1,116	678	678	678
テーオーシー有明	1,008	1,008	1,000	1,000	1,000	1,000		
東洋学園大学本郷キャンパス	920	920	906	900		940	940	550
中央動物専門学校	599	635						
駿台学園高等学校				719	600			
東京ヘアメイク専門学校		400						
臨床福祉専門学校	529				600	700	700	700
二松学舎大学		606		425				
中央工学校	1,460		1,460		800		1,400	
東京経済大学	2,100	2,279	2,100	2,000	450	1,100	1,650	2,603
電気通信大学A		0		1,250	1,994	1,250	1,500	1,761
成蹊大学	3,500	3,500	2,600	3,000			2,936	
東京農工大学(農学部)		1,000						
東京電機大学中学校・高等学校	1,000	1,000	900	1,000	1,030	1,073		
電気通信大学B		1,050		1,100	900	834		830
専門学校東京テクニカルカレッジ	620	620		660		670		
明治学院東村山中学・高等学校	1,515	1,530		900	300	1,132		1,663
東京工学院専門学校	600	570	200	200	300	340	490	490
一橋大学		1,354			2,367	1,089		
NTT東日本研修センタ	1,198	1,797	1,100	1,650		1,099		
玉川大学			500		100			522
多摩永山情報教育センター			500					
郁文館高等学校		1,372				1,300		
明星学園高等学校		500				523		762
嘉悦大学		900	706	211			750	
多摩大学		1,030						
亜細亜大学			2,500	1,564				
東京学芸大学			1,000		1,853		838	1,734
東京外国語大学			1,481		1,575			
服部栄養専門学校				293		766		
帝京科学大学							1,108	
星美学園短期大学				375				
中央学院大学中央高等学校								496
武蔵野大学 有明キャンパス								1,894

試験会場	平成 21年 度春 期	平成 21年 度秋 期	平成 22年 度春 期	平成 22年 度秋 期	平成 23年 度特 別	平成 23年 度秋 期	平成 24年 度春 期	平成 24年 度秋 期
中央大学駿河台記念館								837
ベルサール汐留		1,451	1,376	1,400	1,400			
ベルサール秋葉原		836		950				
ベルサール西新宿			700	700	400	752		
ベルサール八重洲				600				
ベルサール原宿		412		400				
ベルサール九段		436						
ベルサール渋谷ファースト				1,296	1,296			
TKP銀座ビジネスセンター		436						
TKP東京駅八重洲ビジネスセンター		978						
TKP三田・田町ビジネスセンター		666						
TKP東京駅日本橋ビジネスセンター			742	900	1,304	1,705		
TKP大手町カンファレンスセンター					629			
TKP代々木ビジネスセンター				1,261				
日本大学 法学部 A							335	
日本大学 法学部 B							1,578	
大正大学 巣鴨校舎							1,421	
クロスウェーブ府中					550	400		
河合塾 池袋校舎					240			
中小企業大学校					380			
サンライズビルイベントホール					440			
大手町サンケイプラザ					570			
興和					300			
TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター					1,542	1,600		1,305
TKP渋谷カンファレンスセンター					550			610
TKPガーデンシティ品川					1,502			
ベルサール半蔵門					386			
ベルサール飯田橋ファースト					404			
ベルサール新宿					504			
泉ガーデンギャラリー					370			
TKP赤坂ソインタワーカンファレンスセンター						1,300		1,189
日本赤十字看護大学(広尾)						964		
TKP東京駅ビジネスセンター1号館								1,150
機械産業記念事業財団テピア		14	15	9	9	11	19	
戸山サンライズ(全国身障者)	29	39	32	42	33	39	42	34
アクロスあらかわ	10	12	9	9	18	10	15	18
タイム24ビル(B)	28	25	21	18	11	16	17	
大田区産業プラザ								20
東洋学園大学 本郷キャンパス B								19
アルカディア市ヶ谷(私学会館)					12			

小計	69,277	71,845	77,194	73,337	77,159	63,519	63,040	62,183
----	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------

八王子試験地

(単位:人数)

試験会場	平成 21年 度春 期	平成 21年 度秋 期	平成 22年 度春 期	平成 22年 度秋 期	平成 23年 度特 別	平成 23年 度秋 期	平成 24年 度春 期	平成 24年 度秋 期
首都大学東京	596							
工学院大学(八王子校舎)	1,368	1,788	1,669	1,728			925	
日本工学院八王子専門学校	1,575	1,467	1,972	2,284	3,520	2,288	2,894	2,961
多摩永山情報教育センター		786		750	500	764		
多摩大学				203		949		
帝京大学	1,251		673				1,473	
中央大学多摩キャンパスA								1,354
中央大学多摩キャンパスB								16
恵泉女学園大学								1,237
八王子高等学校		1,050	875					
多摩少年院	2		2			1	2	1
八王子市東浅川保健福祉センター	12	14	11	13	10	12	12	
小計	4,804	5,105	5,202	4,978	4,030	4,014	5,306	5,569

合計	74,081	76,950	82,396	78,315	81,189	67,533	68,346	67,752
事業実施機関	独立行政法人情報処理推進機構						日本通運株式会 社	

(b) 試験の座席配置については、原則、1 人用机は、隣の机と離して配置し、複数人数の長机では、隣席を空けて試験定員に応じて配置した。

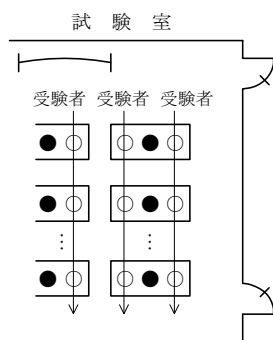


図 座席配置の例(『監督員マニュアル』から抜粋)

(c) 試験時間の過不足の防止について

平成 24 年度春期及び秋期の試験実施時、開始時刻が遅れた会場があったものの、それぞれ終了時刻を調整することで試験時間の過不足を生じないようにし、問題なく試験を実施することができた。

(d) 不正行為の防止及び不正行為に対する厳正な対処

該当する事実はなかった。

なお、不正行為を絶対防止するため、机上に置くことが認められるもの*以外は、全てカバンや封筒にしまわせた上で、当該カバン等を足元に置かせた。試験中は、監督員が定期的に試験室内を巡回するよう指導している。

※机上に置けるもの…受験票、黒鉛筆及びシャープペンシル、鉛筆削り、消しゴム、定規、時計(アラームなど時計以外の機能は使用不可)、ハンカチ、ポケットティッシュ、目薬

(e) マニュアルを厳格に適用することによる正確かつ公平な出欠確認及び受験資格の確認確認できた。

(f) 受験者に配付した答案用紙及び受験票(本人控えは除く。)の全数回収。全て回収できた。

(g) 回収した答案用紙への加筆及び訂正の防止について該当する事実はなかった。

(h) 未使用答案用紙の欠席者及び部外者への流出防止該当する事実はなかった。

(i) 個人情報の盗難、亡失及び漏洩の絶対防止該当する事実はなかった。

(j) 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処結果該当する事実はなかった。

(k) 試験会場の周辺住民の生活環境への配慮及び試験会場周辺での交通トラブルの防止警備員を配置したため、問題も発生せずクレームもなかった。

③平成 24 年 1 月～平成 24 年 12 月に実施した試験における調査項目ニの結果

表4 受験申請者数及び実施経費

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
実施事業機関	独立行政法人情報処理推進機構					日本通運株式会社
受験申請者数	140,369	139,625	151,031	160,711	148,722	136,098
実施経費	276,552 千円	277,165 千円	315,137 千円	349,697 千円	347,430 千円	303,167 千円

* 平成 24 年度及び 25 年度の報酬の支払いは、請負契約金額を2等分している。

(5) 評価

市場化テストにより、落札事業者に委託した旧関東支部東京地域(東京、八王子試験地)の試験実施事業に係る調査項目の達成結果については、上記のとおりであり、過去、機構で実施していた

時と同様に試験問題の事前漏洩等が無かったこと、会場確保は問題なく確保できたこと等から試験が滞りなく実施できたことは評価できる。

また、会場責任者をはじめ、副責任者、主任管理員や試験室のキーマンである主任監督員等(会場運営に必要な者の約 80%)を事業者の社員で実施したことにより、集合教育等の教育体制や実施態勢がより強化され、試験運営に関するサービスの質の確保につながった。

11. 東京周辺地域(埼玉、千葉、柏、横浜・川崎、藤沢、厚木試験地)

(1)実施規模

表1 実施規模

	平成 21 年度春期	平成 21 年度秋期	平成 22 年度春期	平成 22 年度秋期	平成 23 年度特別	平成 23 年度秋期	平成 24 年度春期	平成 24 年度秋期
受験申請者数	54,219	66,263	60,016	66,246	58,697	53,554	55,968	55,110
会場数	71	74	72	75	90	67	44	50
事業実施機関	独立行政法人情報処理推進機構						日本通運株式会社	

※ 平成 23 年度特別試験の会場数は、6 月実施分と 7 月実施分の延べ会場数である。
平成 21 年度春期～23 年度秋期の受験申請者数から、IT パスポート試験は除いている。

(2)調査項目

- イ. 問題冊子の漏洩の数とその原因について
- ロ. 答案用紙の回収漏れの数とその原因について
- ハ. 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処方法について
- ニ. 実施経費

(3)調査方法

独立行政法人 情報処理推進機構(以下、「機構」という。)は、民間事業者から受けた請負事業の実施状況の報告、民間事業者へのヒアリング、受験者からの問い合わせ結果、回収した答案枚数等を通じて把握した。

(4)調査結果

①平成 24 年 1 月～平成 24 年 12 月に実施した試験における調査項目イ、ロの結果

表2 調査項目イ、ロの目標と実績

調査項目	平成 21 年度春期	平成 21 年度秋期	平成 22 年度春期	平成 22 年度秋期	平成 23 年度特別	平成 23 年度秋期	平成 24 年度春期	平成 24 年度秋期
試験問題の事前漏洩件数(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0
答案用紙の回収漏れ件数(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0
事業実施機関	独立行政法人情報処理推進機構						日本通運株式会社	

なお、事前漏洩を絶対防止するため、機構と落札事業者間で、原則、次のとおり処理を行っている。

- (a) 試験日 2 日前、機構が手配した問題輸送事業者の倉庫で、問題輸送事業者立ち会いの下、落札事業者は、問題等の箱数を確認する。確認後は、問題輸送事業者が厳重に保管する。
- (b) 落札事業者は、試験当日朝、問題輸送事業者が輸送してきた問題等を試験会場で受け取り、問題等の箱数を再確認するとともに、箱が未開梱であることを検品の上、問題輸送事業者が試験

会場内の試験会場事務局に搬入する。

- (c) 試験当日午前の試験開始時刻に間に合うよう、試験会場事務局内で、試験区分ごとに梱包された問題等を開梱し、試験室別に受験申請者数と同数の問題冊子、答案用紙をセットし、確認を行った後、試験監督員により試験室内に運び入れる。

②平成24年1月～平成24年12月に実施した試験における調査項目への結果

- (a) 機構の試験会場の借り上げ実績を参考とした概ね交通の便が良く、清潔かつ静かな環境を備えた受験申請者数全数の収容を可能とする試験会場の確保。

試験会場に関する結果については、機構側の協力もあり表3のとおり、公共交通機関を利用してアクセスすることが可能な会場(バス便の少ない会場では、臨時バスの手配)を選定しており、機構が示した条件を満たしていることを確認した。

表3 借用会場

埼玉試験地

(単位:人数)

試験会場	平成 21年 度春 期	平成 21年 度秋 期	平成 22年 度春 期	平成 22年 度秋 期	平成 23年 度特 別	平成 23年 度秋 期	平成 24年 度春 期	平成 24年 度秋 期
東京電機大学 鳩山校舎		450		489		450		
獨協大学	2,502	1,360	1,790	1,740	2,206	1,100	1,854	1,859
文教大学 越谷校舎								1,003
ものづくり大学		529	300	790	500	480		
東京理科大学 久喜キャンパス		848		423		250		
ジェイエイ共済埼玉ビル	794	713	834	864		800		
目白大学岩槻キャンパス		587		463		250		
平成国際大学	540	610	350	759	325	350		
国際学院高等学校		638		562		560		
国際学院埼玉短期大学					500			638
埼玉工業専門学校		313						
代々木ゼミナール大宮校B館				299				
埼玉栄中学・高等学校	600	600						
小松原高等学校		517		445		382		
埼玉大学	1,243	1,188	1,800	1,600	3,082	1,144	1,729	1,339
埼玉工業大学	200	229	200	250		302	510	
東洋大学朝霞キャンパス	329		800					
大原簿記情報ビジネス専門学校大宮校	394	585	585	380	583		621	415
立教大学(新座校舎)	1,144		968					
芝浦工業大学大宮校舎					1,895	767	2,606	1,851
東京国際大学第一キャンパス	1,130		1,300		1,615		2,002	
東京国際大学第二キャンパス		1,298		968		751		1,501
熊谷商業高等学校	140	350						

試験会場	平成 21年 度春 期	平成 21年 度秋 期	平成 22年 度春 期	平成 22年 度秋 期	平成 23年 度特 別	平成 23年 度秋 期	平成 24年 度春 期	平成 24年 度秋 期
十文字学園女子大学	380	350	300	196		300		
埼玉コンピュータ・医療事務専門学校	261	240	200	350	500	150	340	342
試験会場	平成 21年 度春 期	平成 21年 度秋 期	平成 22年 度春 期	平成 22年 度秋 期	平成 23年 度特 別	平成 23年 度秋 期	平成 24年 度春 期	平成 24年 度秋 期
東京家政大学 狭山校舎		150						
大宮ソニックシティビル			661			900		
くすのきホール			500	464	600	600		
聖学院大学			450	731	350	270		1,058
日本工業大学 宮代キャンパス					697			
国立職業リハビリテーションセンター	11	10	8	8	12	10	14	8
埼玉県総合リハビリテーションセンター	7	5	5	6	6	8	9	8
川越少年刑務所	12	10	11	14	10	12	10	11
小計	9,687	11,580	11,062	11,801	12,881	9,836	9,695	10,033

千葉試験地

(単位:人数)

試験会場	平成 21年 度春 期	平成 21年 度秋 期	平成 22年 度春 期	平成 22年 度秋 期	平成 23年 度特 別	平成 23年 度秋 期	平成 24年 度春 期	平成 24年 度秋 期
和洋女子大学	577	554	554	552	751	415		
神田外語大学	884		723	700		677		
千葉工業大学(津田沼校舎)	1,723	2,026	1,616	1,908		1,609	1,624	1,933
千葉工業大学(芝園校舎)	850	2,932	1,826	2,919	2,806	2,441	2,582	2,335
千葉商科大学	848	536	1,850	1,379	2,227	1,231	1,800	1,432
敬愛大学稲毛キャンパス					539		990	1,229
幕張メッセ(国際会議場)	1,097	1,104	744		498	1,380		
東京情報大学	200	701	599	550	1,581	633	1,190	1,034
東京学館船橋高等学校	766							
東邦大学習志野キャンパス		422	328	1,102				
千葉経済大学			1,080				847	
代々木ゼミナール津田沼校	986	801	809	736	592			
植草学園大学・短期大学	1,068	735		395	1,603			
日本大学薬学部	600	660		635				616
東京電機大学千葉ニュータウンキャンパス		1,082	858	925	2,035	830		500
千葉県青少年女性会館	8	10	11	13	2	8	14	12
ホテルグリーンタワー千葉					6			
小計	9,607	11,563	10,998	11,814	12,640	9,224	9,047	9,091

柏試験地

(単位:人数)

試験会場	平成 21年 度春 期	平成 21年 度秋 期	平成 22年 度春 期	平成 22年 度秋 期	平成 23年 度特 別	平成 23年 度秋 期	平成 24年 度春 期	平成 24年 度秋 期
麗澤大学			210					
東洋学園大学	770		816	537	264	540		
中央学院大学					1,841			
日本大学松戸歯学部			641		433			
日本橋学館大学	300	638		445		448		970
東京理科大学野田キャンパス	3,251	4,353	3,421	3,872		2,793	3,524	2,433
流通経済大学新松戸キャンパス	945	1,176	784	1,055		936	996	1,063
東葛テクノプラザ	6	7	2	3	1	4		
小計	5,272	6,174	5,874	5,912	2,539	4,721	4,520	4,466

横浜・川崎試験地

(単位:人数)

試験会場	平成 21年 度春 期	平成 21年 度秋 期	平成 22年 度春 期	平成 22年 度秋 期	平成 23年 度特 別	平成 23年 度秋 期	平成 24年 度春 期	平成 24年 度秋 期
川崎市立商業高等学校	555	276						
川崎市立川崎総合科学高等学校	455	3,270	276	276		276	705	766
明治大学 生田校舎	2,310	650	2,665	2,855	3,814	2,060	3,195	1,781
専修大学 生田校舎	1,280		1,300	1,513	797	1,431	2,434	1,163
神奈川大学 横浜キャンパス	1,100		2,250		3,311		2,789	
横浜商科大学	1,178		1,572		1,000		1,341	
関東学院大学 金沢八景キャンパス	1,550		2,191				2,275	
岩崎学園横浜デジタルアーツ専門学校	726	473	618	618	618	800	760	758
岩崎学園 新横浜2号館	196	352	320	320		320		
相鉄岩崎学園ビル(横浜西口2号館)	540		718	794	876	750	741	718
パシフィコ横浜(展示ホールA、B)		3,820		3,820		3,793		3,820
パシフィコ横浜(展示ホールC、D)		3,820		3,820		3,820		3,820
神奈川県立横浜桜陽高等学校	462	288	252	252	714	252		634
横浜市立横浜商業高等学校		216	216	216		500		
慶応義塾大学 日吉キャンパス	2,192		3,600	1,379	586			
慶応義塾大学 日吉キャンパス B				2,895				
國學院大学 たまプラーザキャンパス	1,485	1,561	1,347	800		1,112	1,490	1,776
東京都市大学 横浜キャンパス	1,029	1,222	1,158	1,156	1,100	1,076	1,114	1,015
鶴見大学	740	740						
大原法律公務員専門学校 横浜校	294	462	360	360	396	360	420	419
代々木ゼミナール横浜校	470	321		470		470	470	
東洋英和女学院大学	1,500	2,614	1,210	1,508		1,370	1,800	2,083
東京女学館大学	700	700						

試験会場	平成 21年 度春 期	平成 21年 度秋 期	平成 22年 度春 期	平成 22年 度秋 期	平成 23年 度特 別	平成 23年 度秋 期	平成 24年 度春 期	平成 24年 度秋 期
東芝研修センターB	884	1,010	898	898	898	1,000	1,000	1,008
青山学院大学 相模原キャンパス	2,564	4,213	1,905	2,889	5,277	2,751	3,840	1,278
明治学院大学 横浜キャンパス	1,160	2,824	1,836	1,836		1,600	1,798	2,036
橘学苑中学校・高等学校	166	204	689	689	689			
中央大学横浜山手中学校・高等学校		413	445					
相模女子大学				816	1,520	401		
桜美林大学					620			
横浜商科大学みどりキャンパス				587				
麻布大学								1,308
和泉短期大学					800			
湘南短期大学(神奈川歯科大学)					980			
外語ビジネス専門学校					542			
総合電子専門学校					718			
アーツカレッジヨコハマ					432			
AOTS横浜研修センター					432			
パンフィコ横浜(アネックスホール)						620		620
パンフィコ横浜(国際会議場)						384		
川崎市南部身体障害者福祉会館	15	11	15	17	7	7	9	6
東芝研修センターA	17	33	20	23	33	28	29	30
小計	23,568	29,493	25,861	30,807	26,160	25,181	26,210	25,039

藤沢試験地

(単位:人数)

試験会場	平成 21年 度春 期	平成 21年 度秋 期	平成 22年 度春 期	平成 22年 度秋 期	平成 23年 度特 別	平成 23年 度秋 期	平成 24年 度春 期	平成 24年 度秋 期
湘南工科大学	979	1,268	261		1,431	1,109	1,971	1,650
文教大学 湘南キャンパス	738		1,206					
関東学院大学 小田原キャンパス	405	445	445	350				
神奈川大学 湘南ひらつかキャンパス	642	897	850	850	672			
藤沢翔陵高等学校	677	212		344				561
平塚工科高等学校		599	599	578				
秀英予備校 藤沢校	284	315	579		661	250	587	
日本大学生物資源科学部		773		891		1,015	1,295	1,504
藤沢産業センター	7	6	10	10		13		7
小計	3,732	4,515	3,950	3,023	2,764	2,387	3,853	3,722

厚木試験地

(単位:人数)

試験会場	平成 21年 度春 期	平成 21年 度秋 期	平成 22年 度春 期	平成 22年 度秋 期	平成 23年 度特 別	平成 23年 度秋 期	平成 24年 度春 期	平成 24年 度秋 期
麻布大学	849		825					
神奈川工科大学	245	1,203	231	899	440	680	1,213	1,648
産業能率大学	270	870	193	300		452	764	
厚木中央高等学校・専門学校神奈川総合大学校		415		715	415	470		605
松蔭大学				513				500
東海大学 湘南キャンパス	750		900		550			
秀英予備校(厚木校)	231	439	116	455	300	597	657	
伊勢原シティプラザ(商工会館)	8	11	6	7	8	6	9	6
小計	2,353	2,938	2,271	2,889	1,713	2,205	2,643	2,759

合計	54,219	66,263	60,016	66,246	58,697	53,554	55,968	55,110
事業実施機関	独立行政法人情報処理推進機構						日本通運株式会 社	

- (b) 試験の座席配置については、原則、1 人用机は、隣の机と離して配置し、複数人数の長机では、隣席を空けて試験定員に応じて配置した。

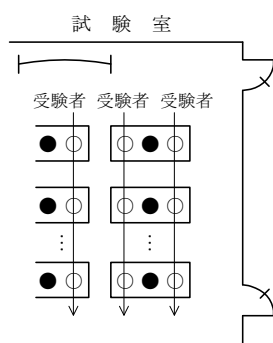


図 座席配置の例(『監督員マニュアル』から抜粋)

- (c) 試験時間の過不足の防止について

平成 24 年度春期の試験実施時、開始時刻が遅れた会場や開始時刻を早めて試験を開始した会場があったものの、それぞれ終了時刻を調整することで試験時間の過不足を生じないようにし、問題なく試験を実施することができた。

- (d) 不正行為の防止及び不正行為に対する厳正な対処

該当する事実はなかった。

なお、不正行為を絶対防止するため、机上に置くことが認められるもの*以外は、全てカバンや封筒にしまわせた上で、当該カバン等を足元に置かせた。試験中は、監督員が定期的に試験

室内を巡回するよう指導している。

※机の上に置けるもの・・・受験票、黒鉛筆及びシャープペンシル、鉛筆削り、消しゴム、定規、時計(アラームなど時計以外の機能は使用不可)、ハンカチ、ポケットティッシュ、目薬

(e) マニュアルを厳格に適用することによる正確かつ公平な出欠確認及び受験資格の確認確認できた。

(f) 受験者に配付した答案用紙及び受験票(本人控えは除く。)の全数回収。全て回収できた。

(g) 回収した答案用紙への加筆及び訂正の防止について該当する事実はなかった。

(h) 未使用答案用紙の欠席者及び部外者への流出防止該当する事実はなかった。

(i) 個人情報の盗難、亡失及び漏洩の絶対防止該当する事実はなかった。

(j) 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処結果該当する事実はなかった。

(k) 試験会場の周辺住民の生活環境への配慮及び試験会場周辺での交通トラブルの防止警備員を配置したため、問題も発生せずクレームもなかった。

③平成 24 年 1 月～平成 24 年 12 月に実施した試験における調査項目ニの結果

表4 受験申請者数及び実施経費

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
実施事業機関	独立行政法人情報処理推進機構					日本通運株式会社
受験申請者数	108,605	111,059	120,482	126,262	112,251	111,078
実施経費	197,476 千円	210,671 千円	220,740 千円	274,737 千円	262,229 千円	214,997 千円

* 平成 24 年度及び 25 年度の報酬の支払いは、請負契約金額を2等分している。

(5) 評価

市場化テストにより、落札事業者に委託した旧関東支部東京周辺地域(埼玉、千葉、柏、横浜・川崎、藤沢、厚木試験地)の試験実施事業に係る調査項目の達成結果については、上記のとおりであり、過去、機構で実施していた時と同様に試験問題の事前漏洩等が無かったこと、会場確保は問題なく確保できたこと等から試験が滞りなく実施できたことは評価できる。

また、会場責任者をはじめ、副責任者、主任管理員や試験室のキーマンである主任監督員等（会場運営に必要な者の約 90%）を事業者の社員で実施したことにより、集合教育等の教育体制や実施態勢がより強化され、試験運営に関するサービスの質の確保につながった。

12. 名古屋地域(名古屋試験地)

(1) 実施規模

表1 実施規模

	平成 21 年度春期	平成 21 年度秋期	平成 22 年度春期	平成 22 年度秋期	平成 23 年度特別	平成 23 年度秋期	平成 24 年度春期	平成 24 年度秋期
受験申請者数	11,580	12,866	12,116	12,384	11,881	10,436	10,439	10,430
会場数	18	22	19	19	18	18	12	13
事業実施機関	独立行政法人情報処理推進機構						株式会社全国試験 運営センター	

※ 平成 23 年度特別試験の会場数は、6 月実施分と 7 月実施分の延べ会場数である。
平成 21 年度春期～23 年度秋期の受験申請者数から、IT パスポート試験は除いている。

(2) 調査項目

- イ. 問題冊子の漏洩の数とその原因について
- ロ. 答案用紙の回収漏れの数とその原因について
- ハ. 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処方法について
- ニ. 実施経費

(3) 調査方法

独立行政法人 情報処理推進機構(以下、「機構」という。)は、民間事業者から受けた請負事業の実施状況の報告、民間事業者へのヒアリング、受験者からの問い合わせ結果、回収した答案枚数等を通じて把握した。

(4) 調査結果

①平成 24 年 1 月～平成 24 年 12 月に実施した試験における調査項目イ、ロの結果

表2 調査項目イ、ロの目標と実績

調査項目	平成 21 年度春期	平成 21 年度秋期	平成 22 年度春期	平成 22 年度秋期	平成 23 年度特別	平成 23 年度秋期	平成 24 年度春期	平成 24 年度秋期
試験問題の事前漏洩件数(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0
答案用紙の回収漏れ件数(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0
事業実施機関	独立行政法人情報処理推進機構						日本通運株式会社	

なお、事前漏洩を絶対防止するため、機構と落札事業者間で、原則、次のとおり処理を行っている。

- (a) 試験日 2 日前、機構が手配した問題輸送事業者の倉庫で、問題輸送事業者立ち会いの下、落札事業者は、問題等の箱数を確認する。確認後は、問題輸送事業者が厳重に保管する。
- (b) 落札事業者は、試験当日朝、問題輸送事業者が輸送してきた問題等を試験会場で受け取り、問題等の箱数を再確認するとともに、箱が未開梱であることを検品の上、問題輸送事業者が試験

会場内の試験会場事務局に搬入する。

- (c) 試験当日午前の試験開始時刻に間に合うよう、試験会場事務局内で、試験区分ごとに梱包された問題等を開梱し、試験室別に受験申請者数と同数の問題冊子、答案用紙をセットし、確認を行った後、試験監督員により試験室内に運び入れる。

②平成24年1月～平成24年12月に実施した試験における調査項目への結果

- (a) 機構の試験会場の借り上げ実績を参考とした概ね交通の便が良く、清潔かつ静かな環境を備えた受験申請者数全数の収容を可能とする試験会場の確保。

試験会場に関する結果については、機構側の協力もあり表3のとおり、公共交通機関を利用してアクセスすることが可能な会場(バス便の少ない会場では、臨時バスの手配)を選定しており、機構が示した条件を満たしていることを確認した。

表3 借用会場

名古屋試験地

(単位:人数)

試験会場	平成 21年 度春期	平成 21年 度秋期	平成 22年 度春期	平成 22年 度秋期	平成 23年 度特別	平成 23年 度秋期	平成 24年 度春期	平成 24年 度秋期
名古屋工業大学(23号館)	632	670	654					
名古屋工業大学A					695	920	1,214	800
名古屋工業大学B	580	629	567	599	1,004	382	933	737
名城大学(4号館)	1,165	420	1,280	390	400			
名城大学(共通講義棟南)	999	1,750	1,376	1,371				1,183
名城大学(共通講義棟北)	600		660					
名城大学(12号館)		605	432					
名城大学(11号館)	316	369						
東海工業専門学校(金山校)		235	200	280		275		
名古屋工学院専門学校(3号館)	1,103	980	865	982				800
名古屋工学院専門学校(5号館)	957	1,085	1,015	1,085				
名古屋工学院専門学校(1号館)		90		90	560	550	500	500
名古屋工学院専門学校(10号館)						415	475	15
トライデントコンピュータ専門学校	406	412						
名古屋情報メディア専門学校	600	580	380	400		500	500	450
名古屋医専・南校舎	416							
HAL名古屋(スパイラルタワーズ)		1,291	976	1,113	1,905	1,050	900	750
南山大学	1,145	669	987	710	1,878	1,181	970	
ELICビジネス&公務員専門学校	360	378	378	350		345		
愛知産業大学工業高等学校	360	143		567	1,097	494		
名古屋医療情報専門学校		45						
大同大学(滝春校舎)			200		1,787	316	919	1,339
同朋大学	540	720	547	427		488		

試験会場	平成 21年 度春期	平成 21年 度秋期	平成 22年 度春期	平成 22年 度秋期	平成 23年 度特別	平成 23年 度秋期	平成 24年 度春期	平成 24年 度秋期
名古屋大学(全学教育棟)	1,065		1,100	1,684		1,632	1,345	1,327
愛知学院大学(日進キャンパス1号館)		585						1,108
愛知学院大学(日進キャンパス2号館)				600		300		
中京大学(名古屋キャンパス)		810		790		775	1,768	420
愛知大学(車道校舎)	330				727			
愛知大学(名古屋校舎)		390	200	480	1,820	569		
愛知大学(名古屋校舎)内特別会場		10		18	8	16		
ウインクあいち(愛知県産業労働センター)			288	448		228	900	1,001
日本福祉大学中央福祉専門学校	6		11				15	
合計	11,580	12,866	12,116	12,384	11,881	10,436	10,439	10,430
事業実施機関	独立行政法人情報処理推進機構						株式会社全国試験運営センター	

- (b) 試験の座席配置については、原則、1 人用机は、隣の机と離して配置し、複数人数の長机では、隣席を空けて試験定員に応じて配置した。

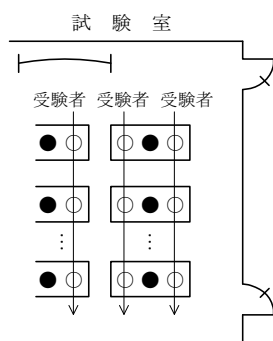


図 座席配置の例(『監督員マニュアル』から抜粋)

- (c) 試験時間の過不足の防止について

平成 24 年度春期及び秋期の試験実施時、開始時刻が遅れた会場があったものの、それぞれ終了時刻を調整することで試験時間の過不足を生じないようにし、問題なく試験を実施することができた。

- (d) 不正行為の防止及び不正行為に対する厳正な対処

該当する事実はなかった。

なお、不正行為を絶対防止するため、机の上に置くことが認められるもの*以外は、全てカバンや封筒にしまわせた上で、当該カバン等を足元に置かせた。試験中は、監督員が定期的に試験室内を巡回するよう指導している。

※机の上に置けるもの…受験票、黒鉛筆及びシャープペンシル、鉛筆削り、消しゴム、定規、時計(アラームなど時計以外の機能は使用不可)、ハンカチ、ポケットティッシュ、目薬

- (e) マニュアルを厳格に適用することによる正確かつ公平な出欠確認及び受験資格の確認

確認できた。

(f) 受験者に配付した答案用紙及び受験票(本人控えは除く。)の全数回収。
全て回収できた。

(g) 回収した答案用紙への加筆及び訂正の防止について
該当する事実はなかった。

(h) 未使用答案用紙の欠席者及び部外者への流出防止
該当する事実はなかった。

(i) 個人情報の盗難、亡失及び漏洩の絶対防止
該当する事実はなかった。

(j) 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処結果
該当する事実はなかった。

(k) 試験会場の周辺住民の生活環境への配慮及び試験会場周辺での交通トラブルの防止
警備員を配置したため、問題も発生せずクレームもなかった。

③平成 24 年 1 月～平成 24 年 12 月に実施した試験における調査項目ニの結果

表4 受験申請者数及び実施経費

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
実施事業機 関	独立行政法人情報処理推進機構					株式会社全国 試験運営セン ター
受験申請者 数	23,928	23,542	24,446	24,500	22,317	20,869
実施経費	52,347 千円	51,705 千円	47,365 千円	49,243 千円	45,601 千円	50,820 千円

* 平成 24 年度及び 25 年度の報酬の支払いは、請負契約金額を2等分している。

(5) 評価

市場化テストにより、落札事業者に委託した旧中部支部(名古屋試験地)の試験実施事業に係る調査項目の達成結果については、上記のとおりであり、過去、機構で実施していた時と同様に試験問題の事前漏洩等が無かったこと、会場確保は問題なく確保できたこと等から試験が滞りなく実施できたことは評価できる。

また、毎試験時、会場責任者、副責任者及び試験室のキーマンである主任監督員に対して、集合教育を実施していることが、試験運営に関するサービスの質の確保につながった。

13. 近畿地域(大阪、滋賀、京都、奈良、神戸、和歌山試験地)

(1)実施規模

表1 実施規模

	平成 21 年度春期	平成 21 年度秋期	平成 22 年度春期	平成 22 年度秋期	平成 23 年度特別	平成 23 年度秋期	平成 24 年度春期	平成 24 年度秋期
受験申請者数	26,846	30,922	29,406	29,991	28,251	25,674	25,550	26,348
会場数	35	38	37	38	49	37	30	41
事業実施機関	独立行政法人情報処理推進機構						日本通運株式会社	

※ 平成 23 年度特別試験の会場数は、6 月実施分と 7 月実施分の延べ会場数である。
平成 21 年度春期～23 年度秋期の受験申請者数から、IT パスポート試験は除いている。

(2)調査項目

- イ. 問題冊子の漏洩の数とその原因について
- ロ. 答案用紙の回収漏れの数とその原因について
- ハ. 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処方法について
- ニ. 実施経費

(3)調査方法

独立行政法人 情報処理推進機構(以下、「機構」という。)は、民間事業者から受けた請負事業の実施状況の報告、民間事業者へのヒアリング、受験者からの問い合わせ結果、回収した答案枚数等を通じて把握した。

(4)調査結果

①平成 24 年 1 月～平成 24 年 12 月に実施した試験における調査項目イ、ロの結果

表2 調査項目イ、ロの目標と実績

調査項目	平成 21 年度春期	平成 21 年度秋期	平成 22 年度春期	平成 22 年度秋期	平成 23 年度特別	平成 23 年度秋期	平成 24 年度春期	平成 24 年度秋期
試験問題の事前漏洩件数(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0
答案用紙の回収漏れ件数(実績)	0	0	0	0	0	0	0	0
事業実施機関	独立行政法人情報処理推進機構						日本通運株式会社	

なお、事前漏洩を絶対防止するため、機構と落札事業者間で、原則、次のとおり処理を行っている。

- (a) 試験日 2 日前、機構が手配した問題輸送事業者の倉庫で、問題輸送事業者立ち会いの下、落札事業者は、問題等の箱数を確認する。確認後は、問題輸送事業者が厳重に保管する。
- (b) 落札事業者は、試験当日朝、問題輸送事業者が輸送してきた問題等を試験会場で受け取り、問題等の箱数を再確認するとともに、箱が未開梱であることを検品の上、問題輸送事業者が試験

会場内の試験会場事務局に搬入する。

- (c) 試験当日午前の試験開始時刻に間に合うよう、試験会場事務局内で、試験区分ごとに梱包された問題等を開梱し、試験室別に受験申請者数と同数の問題冊子、答案用紙をセットし、確認を行った後、試験監督員により試験室内に運び入れる。

②平成24年1月～平成24年12月に実施した試験における調査項目への結果

- (a) 機構の試験会場の借り上げ実績を参考とした概ね交通の便が良く、清潔かつ静かな環境を備えた受験申請者数全数の収容を可能とする試験会場の確保。

試験会場に関する結果については、機構側の協力もあり表3のとおり、公共交通機関を利用してアクセスすることが可能な会場(バス便の少ない会場では、臨時バスの手配)を選定しており、機構が示した条件を満たしていることを確認した。

表3 借用会場

大阪試験地

(単位:人数)

試験会場	平成 21年 度春 期	平成 21年 度秋 期	平成 22年 度春 期	平成 22年 度秋 期	平成 23年 度特 別	平成 23年 度秋 期	平成 24年 度春 期	平成 24年 度秋 期
大阪国際大学(枚方キャンパス)	370	719	370	591	240	580		571
関西大学(千里山第1学舎)		427					2,222	
関西大学(千里山第2学舎)	1,669	1,331	1,320	1,787		890		
関西大学(千里山第2学舎3号館)						940		
関西大学(千里山第4学舎)		834	839	955	3,730			
関西大学(天六学舎)		743		710		1,402	838	
大阪学院大学	1,410		1,777				911	
大阪経済大学(東校地)	1,660		1,705	1,130	580	560	1,501	1,624
大阪電気通信大学高等学校	494		455					
近畿大学	1,570		1,100		1,110		2,208	
大阪産業大学(3・13号館)	660							
大阪産業大学(東部キャンパス)		1,191	660	1,065		720		970
大阪産業大学(中央キャンパス)		369		830	1,620		861	460
羽衣国際大学	595	794	703	501		505	500	500
HAL大阪	720	1,506	930	885	1,304	1,000	900	900
マイドームおおさか	2,000	2,305	2,305	2,305		2,038		
阪南大学(本キャンパス)	520	1,220	610	990	1,181	823	800	
摂南大学	2,391		2,079		540			
桃山学院大学	940	1,750	530	1,040	2,436	1,189		490
天満研修センター	1,390	1,580	1,451	1,477	830	1,370		960
太成学院大学高等学校		784		708	500	500		
大阪大学豊中キャンパス							1,049	
大阪青山大学		1,175		1,400		755	700	700
大阪商工会議所		800	803	480		733		

試験会場	平成 21年 度春 期	平成 21年 度秋 期	平成 22年 度春 期	平成 22年 度秋 期	平成 23年 度特 別	平成 23年 度秋 期	平成 24年 度春 期	平成 24年 度秋 期
大阪アカデミア		955		950	785	1,130		448
大阪電気通信大学(寝屋川キャンパス)					1,960		1,615	
大阪府立大学(中百舌鳥キャンパス)							1,083	
大阪樟蔭女子大学(小阪キャンパス)								1,424
ATC オズ棟南館								562
TKP大阪御堂筋カンファレンスセンター								366
TKP大阪心斎橋カンファレンスセンター								606
大原簿記法律専門学校難波校								529
大原簿記専門学校大阪校1号館								500
ECCコンピュータ専門学校								764
日本理工情報専門学校								448
大阪府立大学(羽曳野キャンパス)								400
代々木ゼミナール大阪南校								400
新大阪丸ビル別館								730
新大阪丸ビル本館								178
東海大学付属仰星高等学校								1,143
大阪市職業リハビリテーションセンター	15	16	12	13	20	25	23	44
小計	16,404	18,499	17,649	17,817	16,836	15,160	15,211	15,717

滋賀試験地

(単位:人数)

試験会場	平成 21年 度春 期	平成 21年 度秋 期	平成 22年 度春 期	平成 22年 度秋 期	平成 23年 度特 別	平成 23年 度秋 期	平成 24年 度春 期	平成 24年 度秋 期
立命館大学びわこ・くさつキャンパス	655	786	601	763		590	491	470
龍谷大学 瀬田キャンパス				646	1,274	610	607	706
小計	655	786	601	1,409	1,274	1,200	1,098	1,176

京都試験地

(単位:人数)

試験会場	平成 21年 度春 期	平成 21年 度秋 期	平成 22年 度春 期	平成 22年 度秋 期	平成 23年 度特 別	平成 23年 度秋 期	平成 24年 度春 期	平成 24年 度秋 期
京都産業大学	815	1,108	1,013	726	614	572		880
立命館大学(衣笠キャンパス)	1,028							
同志社大学(新町キャンパス)		1,014						
同志社大学(京田辺キャンパス)	573	814	539	677	940			
京都女子大学(J校舎)		460	440	350	330	378	569	550
京都女子大学(C校舎)	354							
京都光華女子大学	220	280	300					
京都大学			1,216	882			921	
龍谷大学 深草キャンパス				340	848	631		1,217

試験会場	平成 21年 度春 期	平成 21年 度秋 期	平成 22年 度春 期	平成 22年 度秋 期	平成 23年 度特 別	平成 23年 度秋 期	平成 24年 度春 期	平成 24年 度秋 期
龍谷大学 深草キャンパス(21号館)						940	1,018	
京都府立総合社会福祉会館(ハートピア京都)	6	4	9	5	3	4	2	5
小計	2,996	3,680	3,517	2,980	2,735	2,525	2,510	2,652

奈良試験地

(単位:人数)

試験会場	平成 21年 度春 期	平成 21年 度秋 期	平成 22年 度春 期	平成 22年 度秋 期	平成 23年 度特 別	平成 23年 度秋 期	平成 24年 度春 期	平成 24年 度秋 期
帝塚山大学	411	1,161	582	1,044		875	796	802
帝塚山大学学園前キャンパス	584	331	641	600		522	571	
奈良産業大学	522		448		1,337			576
奈良大学					280			
奈良県立奈良高等学校		307						
奈良少年刑務所	7	7	10	14	10	11	9	7
小計	1,524	1,806	1,681	1,658	1,627	1,408	1,376	1,385

神戸試験地

(単位:人数)

試験会場	平成 21年 度春 期	平成 21年 度秋 期	平成 22年 度春 期	平成 22年 度秋 期	平成 23年 度特 別	平成 23年 度秋 期	平成 24年 度春 期	平成 24年 度秋 期
大手前大学いたみ稲野キャンパス	548	402	400	405	504	490	615	511
大手前大学さくら夙川キャンパス	704	941	866	735	904		575	693
神戸市立神港高等学校	280	350	350	350		350		
神戸村野工業高等学校	280	350	420	420	455	420		617
関西学院大学	1,236	1,461	1,759	1,770	1,672	547	1,215	
関西学院大学(第五別館)					864	927		
コンピュータ総合学園神戸電子専門学校	1,231	1,150	1,150	1,100		1,100	923	840
神戸学院大学	544	982	493	760	500	409	527	1,094
神戸市外国語大学					392	664	1,117	408
聖トマス大学								800
神戸市立こうべ市民福祉交流センター	8	11	10	7	3	9		
小計	4,831	5,647	5,448	5,547	5,294	4,916	4,972	4,963

和歌山試験地

(単位:人数)

試験会場	平成 21年 度春 期	平成 21年 度秋 期	平成 22年 度春 期	平成 22年 度秋 期	平成 23年 度特 別	平成 23年 度秋 期	平成 24年 度春 期	平成 24年 度秋 期
近畿大学生物理工学部	436	504	510	580		465	383	455
大原簿記 和歌山					365			
和歌山YMCA					120			
小計	436	504	510	580	485	465	383	455

合計	26,846	30,922	29,406	29,991	28,251	25,674	25,550	26,348
事業実施機関	独立行政法人情報処理推進機構						日本通運株式会 社	

- (b) 試験の座席配置については、原則、1 人用机は、隣の机と離して配置し、複数人数の長机では、隣席を空けて試験定員に応じて配置した。

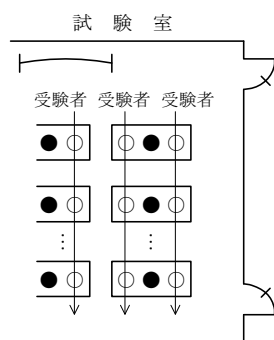


図 座席配置の例(『監督員マニュアル』から抜粋)

- (c) 試験時間の過不足の防止について

平成 24 年度春期及び秋期の試験実施時、開始時刻が遅れた会場があったものの、それぞれ終了時刻を調整することで試験時間の過不足を生じないようにし、問題なく試験を実施することができた。

- (d) 不正行為の防止及び不正行為に対する厳正な対処

該当する事実はなかった。

なお、不正行為を絶対防止するため、机上に置くことが認められるもの*以外は、全てカバンや封筒にしまわせた上で、当該カバン等を足元に置かせた。試験中は、監督員が定期的に試験室内を巡回するよう指導している。

※机上に置けるもの・・・受験票、黒鉛筆及びシャープペンシル、鉛筆削り、消しゴム、定規、時計(アラームなど時計以外の機能は使用不可)、ハンカチ、ポケットティッシュ、目薬

- (e) マニュアルを厳格に適用することによる正確かつ公平な出欠確認及び受験資格の確認確認できた。

- (f) 受験者に配付した答案用紙及び受験票(本人控えは除く。)の全数回収。全て回収できた。

(g)回収した答案用紙への加筆及び訂正の防止について
該当する事実はなかった。

(h)未使用答案用紙の欠席者及び部外者への流出防止
該当する事実はなかった。

(i) 個人情報の盗難、亡失及び漏洩の絶対防止
該当する事実はなかった。

(j) 試験日当日におけるクレームやトラブルの内容と対処結果
該当する事実はなかった。

(k) 試験会場の周辺住民の生活環境への配慮及び試験会場周辺での交通トラブルの防止
警備員を配置したため、問題も発生せずクレームもなかった。

③平成 24 年 1 月～平成 24 年 12 月に実施した試験における調査項目ニの結果

表4 受験申請者数及び実施経費

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
実施事業機 関	独立行政法人情報処理推進機構					日本通運株式 会社
受験申請者 数	56,685	54,712	57,768	59,397	53,925	51,898
実施経費	91,766 千円	91,463 千円	88,840 千円	99,727 千円	101,340 千円	107,100 千円

* 平成 24 年度及び 25 年度の報酬の支払いは、請負契約金額を2等分している。

(5) 評価

市場化テストにより、落札事業者に委託した旧近畿支部(大阪、滋賀、京都、奈良、神戸、和歌山試験地)の試験実施事業に係る調査項目の達成結果については、上記のとおりであり、過去、機構で実施していた時と同様に試験問題の事前漏洩等が無かったこと、会場確保は問題なく確保できたこと等から試験が滞りなく実施できたことは評価できる。

また、会場責任者をはじめ、副責任者、主任管理員や試験室のキーマンである主任監督員等(会場運営に必要な者の約 96%)を事業者の社員で実施したことにより、集合教育等の教育体制や実施態勢がより強化され、試験運営に関するサービスの質の確保につながった。

14. 新プロセスへの移行

これまで行ってきた事業者の実施状況を鑑みると試験運営に関するサービスの質は確保されており、安定して事業を行うことができると評価している。

したがって、次期事業においては、「新プロセス運用に関する指針」に基づく新プロセスへ移行した上で、事業を実施することとしたい。